

【概要】

<医療安全管理のための体制>

医療の安全確保とインシデント・アクシデントの発生防止を推進するため、本指針に基づき、医療安全管理のための体制整備を図るものとし、病院組織として医療安全関係の委員会を設置するとともに、組織横断的に院内の安全管理を担う部門として医療の質・安全管理室を設置する。

1. 医療安全関係の委員会の設置

病院長は、病院組織の医療安全関係の委員会として以下の委員会を設置する。委員会はそれぞれの役割に応じて医療の安全を確保し、並びに院内感染対策及び褥瘡対策等を講ずることにより、安全かつ清潔で良質な医療を提供することを目的とする。

- ①医療安全管理対策委員会
- ②感染対策委員会
- ③褥瘡対策委員会
- ④医療器機安全管理委員会
- ⑤透析器機安全管理委員会
- ⑥防火対策委員会
- ⑦放射線安全管理委員会
- ⑧医療ガス安全管理委員会

2. リスクマネジメント部会の設置

インシデント・アクシデント防止対策のための具体策を検討、協議し、安全で清潔・良質な医療提供を進めるため、リスクマネジメント部会を設置するとともに、各所属にリスクマネージャーを配置する。リスクマネジメント部会で策定されたインシデント・アクシデントの防止対策等は医療安全管理対策委員会に報告する。

3. Rapid Response System (RRS) 部会の設置

院内における病状の変化に早期に対応して、全身状態の悪化を予防することを目的に Rapid Response System (以下 RRS) 部会を設置する。

4. 医療の質・安全管理室の設置

病院長は、医療安全関係の諸委員会で決定された方針に基づき、組織横断的に安全で清潔な医療を推進し、インシデント・アクシデントを未然に防止するとともに、発生した事故に関する事故原因の分析、調査を行い、再発防止策を検討、協議するなど病院のリスクマネジメントを確保するため、医療の質・安全管理室を設置する。医療の質・安全管理室は職員への教育や研修、職場巡視や安全医療を推進するための啓発を行う。

5. 医療安全管理者の配置

病院長は、病院全体の医療安全の中核を担う者として、医療の質・安全管理室に以下の資格を有す医療安全管理者を配置する。その中から医療安全管理責任者として原則として副院長を医療の質・安全管理室長に選任し、その他、最低1名を医療安全管理業務に専従する者として選任する。

- ①医師、薬剤師又は看護師のうちのいずれかの資格を有していること。
- ②医療安全に関する研修を修了し、必要な知識を有していること。
- ③病院の医療安全管理室に所属していること。
- ④病院の医療安全管理対策委員会の構成員に含まれていること。

医療安全管理者は、医療安全管理対策委員会の業務を遂行する。

6. 医薬品安全管理責任者の配置

病院長は、医薬品の安全使用を厳密に行うことを目的として薬剤部に医薬品安全管理責任者を配置する。

7. 医療機器安全管理責任者の配置

病院長は、医療機器の安全運用及び適正管理を目的として医療機器安全管理責任者を配置する。

8. 医療安全カンファレンスの開催

医療の質・安全管理室長は、院内で発生した全てのインシデント・アクシデントを共有するとともに防止対策を検討することを目的に週に1回程度、医療安全カンファレンスを開催する。構成員は、医療の質・安全管理室長、診療局長、看護局長、医療技術局長、事務局長、薬剤部代表者、放射線部代表者、臨床検査部代表者、臨床工学部代表者、栄養部代表者、リハビリテーション部代表者および医事課代表者などとする。

医療安全カンファレンスにおいてインシデント・アクシデントに対する対策を検討し必要に応じて各部署に対策立案を指示する。医療安全管理対策委員会で検討する事例を抽出する。

9. アクシデント対応検討委員会の開催

病院長は、アクシデント調査制度（医療法第六条の十）に該当する可能性のある重大なアクシデントが発生した場合、別に定める要綱に基づきアクシデント対応検討委員会を開催し、アクシデント調査・支援センターに報告すべき症例であるかどうかを判断する。同委員会の構成員は予め選任しておく。

10. 院内アクシデント調査委員会の設置

アクシデント対応検討委員会により詳細調査が必要と判断した事例については別に定める要綱に基づき院内アクシデント調査委員会を設置し、事故原因究明と再発防止を図る。必要に応じて、院外の適切な人員に参加を要請する。

11. 医療事故調査委員会の設置

院内の死亡事例がアクシデント対応検討委員会により医療事故調査制度（医療法第六条の十）に該当する医療事故と判断された場合、病院長は別に定める要綱に基づき医療事故調査委員会を設置し、病院長の医療事故調査・支援センターへの報告を補佐するとともに事故原因究明と再発防止を図る。

【平成 29 年度 医療安全研修（医療安全管理対策委員会主催）】

<全職員対象>

開催日	テーマ	参加人数
6月16日（金）	インシデント・アクシデント報告について	437名
7月31日（月）	当院における医療安全の基本的な考え	358名
8月30日（水） 8月31日（木） 9月21日（木）	e-ラーニング 医療機関における5S活動を知る	518名
11月13日（水）	医療安全に関する確認について	213名
12月19日（火）	①食物アレルギーについて ②その検体 大丈夫ですか？ ③事例から学ぶ 安全管理に必要な視点	197名
2月6日（火）	リスクマネージャーの活動報告	137名

<対象者限定研修>

開催日	テーマ	対象者	参加人数
5月12日（金）	放射線の被ばくとCT・MRIの安全教育について	新採用看護師	20名
5月15日（月） 5月16日（火）	放射線の被ばくとCT・MRIの安全教育について	看護補助者・清掃業者 防災センター職員 中央監視センター職員	25名

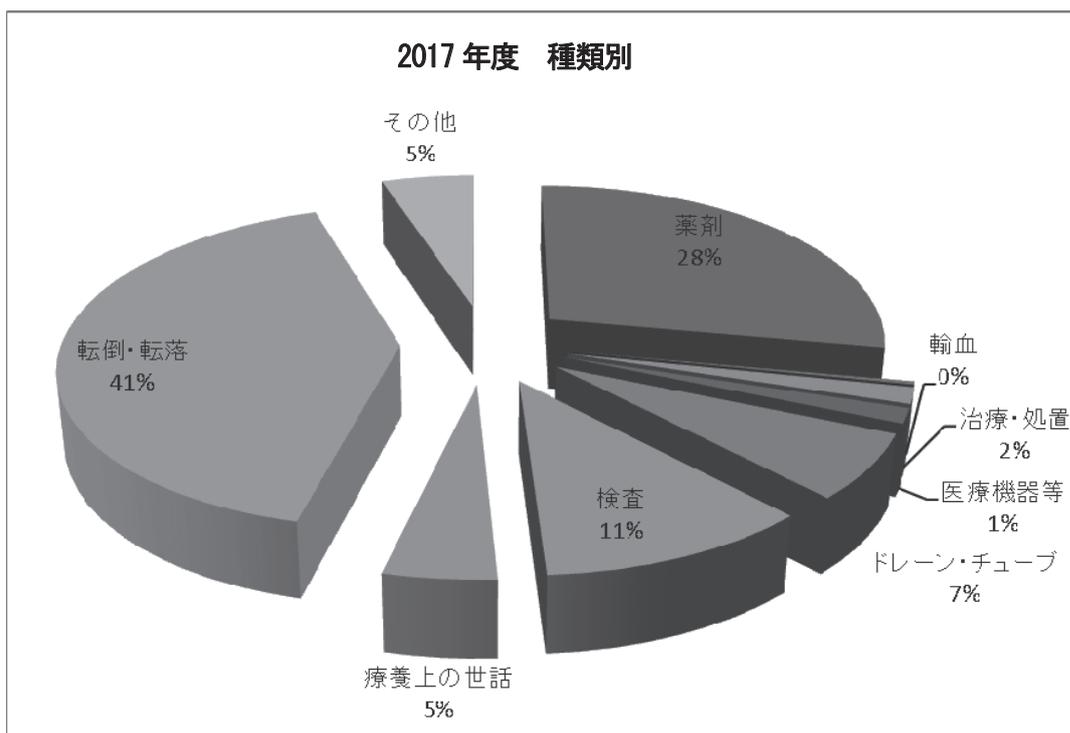
<平成 29 年度 医療の質・安全管理室ニュース「安全速報」の発行>

月 日	号数	内容
4月7日	安全速報121号	車椅子移乗介助時の注意点
4月27日	安全速報122号	洗濯室からの連絡 ボールペンや名札等の混入・バーコードリーダーの誤読
6月30日	安全速報123号	重大な薬剤間違い 事例紹介
10月4日	安全速報124号	医療事故報道より 誤薬の事例紹介
12月4日	安全速報125号	処置にかかわる様々な皮膚障害 事例紹介
1月30日	安全速報126号	院内時計合わせ調査結果報告
2月16日	安全速報127号	配膳時の患者誤認防止 遵守状況調査結果・ゴミを捨てる時の注意点
2月23日	安全速報128号	経管栄養チューブ等の単回使用について
3月31日	安全速報129号	マニュアルを守らなかったことで発生した事象

【インシデント報告件数】

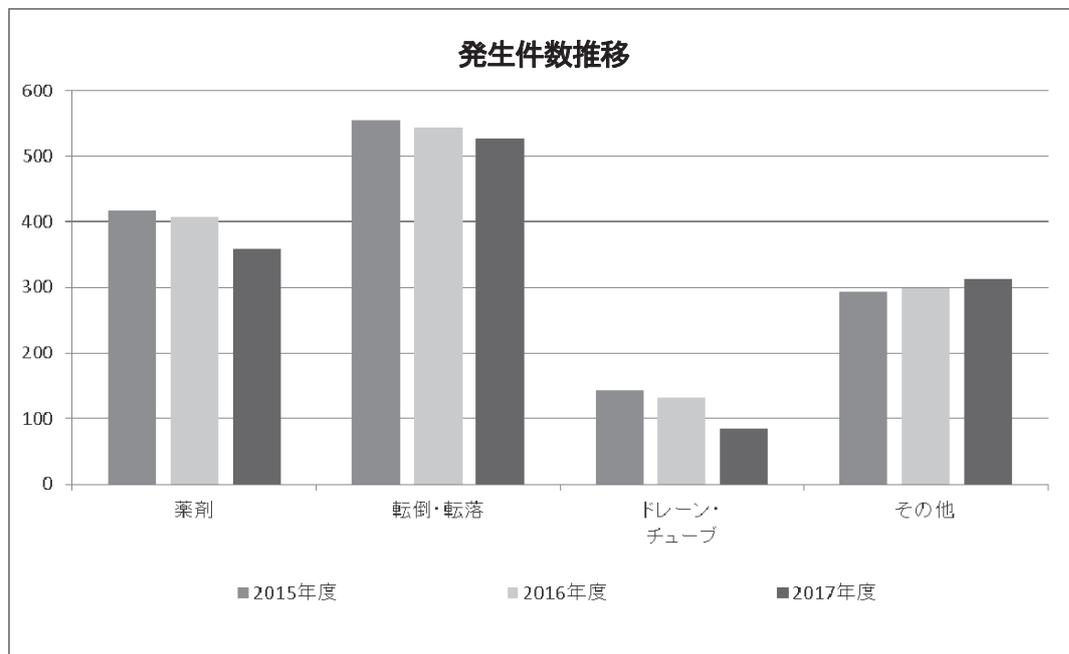
2017年4月1日～2018年3月31日：1,282件（副報告含む=1,358件）

表題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤	35	22	37	25	35	27	44	32	27	33	26	15	358
輸血	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	4
治療・処置	2	1	1	1	1	1	2	4	1	4	2	1	21
医療機器等	2	0	4	1	1	1	3	1	3	1	0	2	19
ドレーン・チューブ	13	5	5	4	5	5	7	8	8	10	10	4	84
検査	11	14	15	10	12	8	14	11	15	14	11	9	144
療養上の世話	6	2	3	6	7	3	10	3	5	7	3	4	59
転倒・転落	44	41	41	41	30	37	59	51	56	47	42	39	528
その他	4	9	7	11	6	9	5	3	4	1	2	4	65
合計	117	94	113	99	97	91	145	113	121	117	96	79	1,282



【発生件数推移】

年度	薬剤	転倒・転落	ドレーン・チューブ	その他	合計
2015年度	418	556	143	293	1,410
2016年度	407	544	132	299	1,382
2017年度	358	528	84	312	1,282



－ インシデント・アクシデントの定義 －

レベル0：患者様に直接的な影響がなく、実施される前に発見。

レベル1：患者様への実害はなかったが、何らかの影響をあたえた可能性があるため、観察の強化や、心身の配慮が必要になる場合。

レベル2：事故により、患者様にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた場合。

レベル3a：簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)

レベル3b：濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)

レベル4：事故による障害が長期にわたると推測される場合。

レベル5：事故が死因となる場合。

その他：盗難、器具破損など患者様には影響がない場合。

【感染管理】

<主な業務>

感染対策の推進

- ・関連委員会、会議の庶務
- ・ICT ラウンド
- ・医療関連感染サーベイランス
- ・マニュアル作成・改訂
- ・感染管理コンサルテーション
- ・職業感染防止
- ・教育・研修企画及び運営
- ・感染症発生动向調査事業に関すること

<平成 29 年度実績・活動内容>

○関連委員会、会議の庶務

- ・感染対策委員会：毎月第 4 月曜日
- ・ICT 会議：1 回
- ・感染症発生に伴う緊急会議：3 回
- ・感染症病棟訓練に関する会議：1 回
- ・感染症発生动向調査に関する説明会：1 回

○感染防止対策加算・感染防止対策地域連携加算に伴う活動

- ・合同カンファレンス：琵琶湖中央病院、ひかり病院（6・9・12 月）
- ・8 施設合同カンファレンス：大津赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院、大津赤十字志賀病院、琵琶湖大橋病院、琵琶湖中央病院、琵琶湖養育院病院、ひかり病院（3 月）
- ・相互ラウンド：大津赤十字病院を評価（10 月）
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院より評価（11 月）

○ICT ラウンド：毎週水曜日

〈抗菌薬ラウンド〉対象：血液培養陽性者、抗 MRSA 薬使用者、カルバペネム長期投与者

- ・ラウンド回数：52 回
- ・延べ対象患者数：663 人
- ・延べラウンド時間：34 時間 29 分

〈耐性菌ラウンド〉対象：耐性菌検出患者

〈環境ラウンド〉対象：病棟以外の部署

○医療関連感染サーベイランス

- ・中心ライン関連血流感染
- ・人工呼吸器関連肺炎
- ・尿道留置カテーテル関連尿路感染
- ・手術部位感染
- ・耐性菌
- ・抗菌薬使用量
- ・手指衛生
- ・針刺し切創・血液体液曝露

○感染症病棟関連

- ・防護用具の着脱訓練：月1回
- ・新型インフルエンザ患者移送訓練：12月

○感染対策研修会

開催月	テーマ	対象	講師
4月	標準予防策・経路別予防策	新規採用者（医師、看護師）	感染管理認定看護師
		医師（医局会）	
5～9月	標準予防策・経路別予防策 (e-ラーニング)	看護師	外部講師
6月	尿道留置カテーテル挿入	看護師（ビギナー研修）	外部講師
7月	標準予防策・経路別予防策	新規採用者（看護補助者）	感染管理認定看護師
6月 7月	標準予防策・経路別予防策 (インターネット講義)	医療職	外部講師
9月	標準予防策・経路別予防策 (インターネット講義)	看護補助員、事務職	外部講師
10月 11月	細菌検査の実際	全職員	臨床検査技師
1月	感染症診療の基本	全職員	外部講師

○ICT ニュースの発行

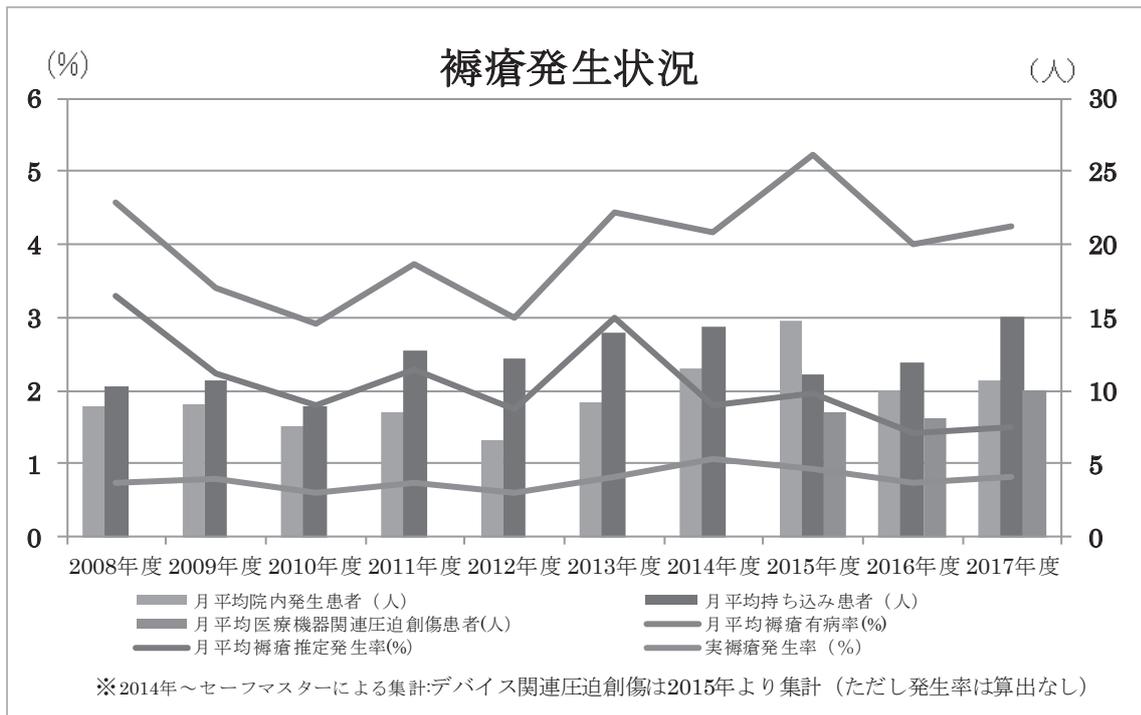
号数	発行日	テーマ
第21号	6月14日	感染管理室が設置されました
第22号	7月26日	清拭タオルの管理は大丈夫？

【褥瘡対策】

褥瘡対策では、褥瘡対策委員会（褥瘡対策チーム）と看護局褥瘡対策委員会、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア認定看護師）が多職種協働でチーム医療を実践しています。

【褥瘡発生状況】

	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
月平均褥瘡有病率 (%)	3.42	2.91	3.73	2.99	4.44	4.17	5.22	4.00	4.26
月平均褥瘡推定発生率 (%)	2.23	1.81	2.29	1.74	3.00	1.81	1.96	1.43	1.46
実褥瘡発生率 (%)	0.79	0.60	0.73	0.60	0.82	1.07	0.94	0.75	0.81
月平均院内発生患者 (人)	9.03	7.54	8.50	6.58	9.16	11.50	14.75	10.08	10.75
月平均持ち込み患者 (人)	10.75	9.00	12.80	12.25	14.00	14.40	11.08	12.00	15.00
月平均医療機器関連圧迫創傷 (人)	-	-	-	-	-	-	8.50	8.16	10.08



【平成29年度褥瘡回診】

月	日数	時間 (分)	のべ人数
4月	3	90	12
5月	4	130	14
6月	3	110	11
7月	4	240	25
8月	5	185	17
9月	4	145	16
10月	3	180	22
11月	4	120	13
12月	4	180	21
1月	4	165	15
2月	4	200	20
3月	3	225	27
計	45	1,970	213

※回診対象者：

新規褥瘡発生・もち込み患者さんの中で、褥瘡深度がNPUAPIⅡ度以上の方

【褥瘡対策研修会】

主催	テーマ	日時	講師	対象
看護局 ラダー	学研メディカル e-learning システム 褥瘡を予防する	通年	-	看護職
	セーフマスター e-learning 褥瘡の基礎・予防編	通年	-	看護職
	褥瘡予防	10月26日	大津 陽子 大坪 有紀子	ラダーレベルⅠ
	DESIGN-R の基礎知識と活用	10月30日	末廣 晃弘	ラダーレベルⅡ
褥瘡対策 委員会	MDRPU/DVT 予防ストッキングによる皮膚障害の予防	10月5日	大津 陽子 並木 大輔 <small>(日本コヴィディエン)</small>	全職員

スキンケア外来

スキンケア外来は、皮膚・排泄ケア認定看護師が運営に携わり、主にストーマ保有者の社会復帰への促進、スキントラブルの予防、QOLの向上等を目的に支援しています。

近年対象者は高齢化が進んでいる事や化学療法・放射線療法後の担癌患者さんなど、背景も多様化しています。特に高齢者は在宅への移行時に、地域の医療システム（医療スタッフ）との連携が必要になるため、実際にストーマケアをして下さる方との情報交換なども積極的に行っています。

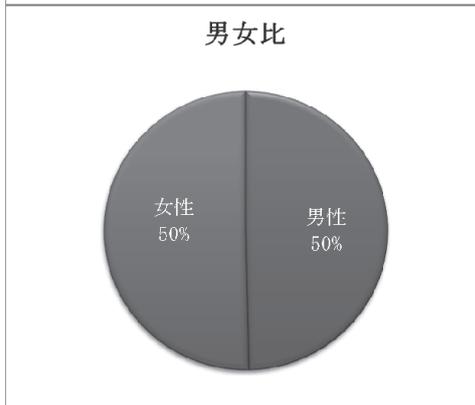
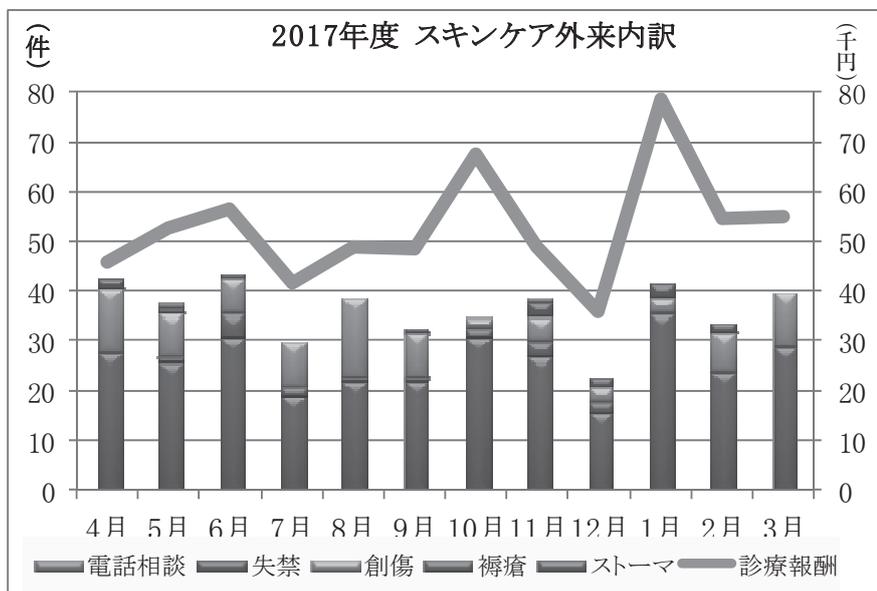
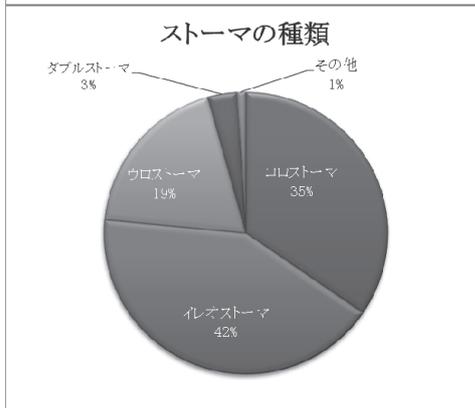
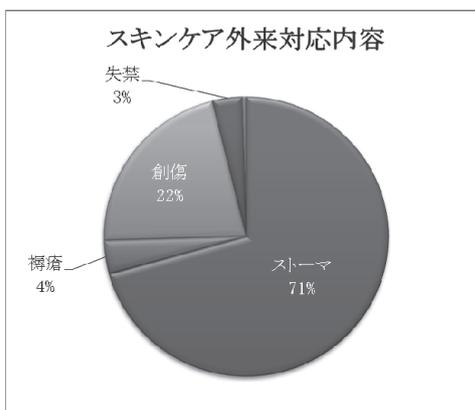
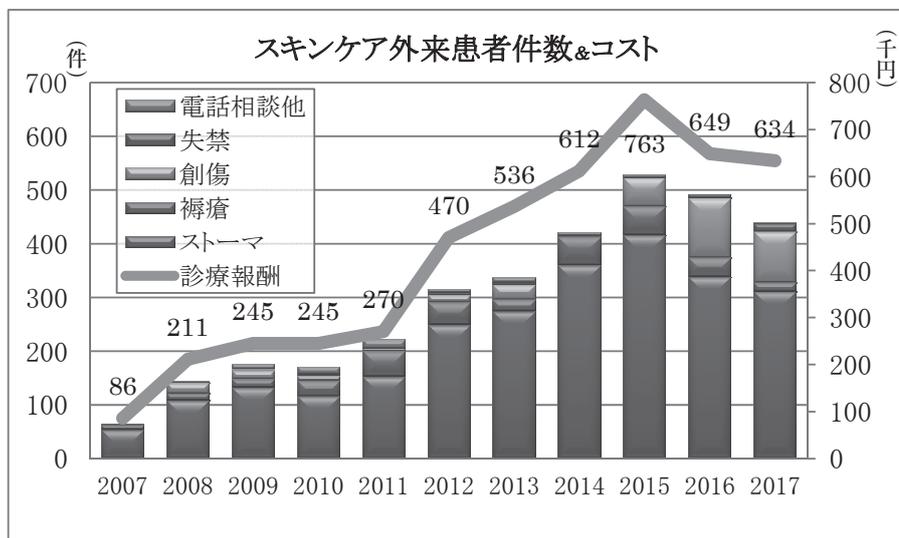
また創傷ケアの一貫として、乳腺外科の医師とともに癌性創傷（自壊創を含む）、手術創の治癒遅延などに対し、ケアを提供しています。在院日数の短縮化や、「1日でも早く退院したい」、「1日でも長く自宅にいたい」と思う患者さんの気持ちを大切に、自宅でもセルフケアが可能な方法を一緒に考えたいと思っています。

褥瘡がある患者さんには、ご家族や日々ケアされる訪問看護師さんをはじめ、在宅関連職種とともに、生活環境や補助用具の見直しや提案等を行いながら、皮膚科医師とともに生活の場で発生する褥瘡の予防や治癒に向けて地域連携およびキーパーソンへの支援を実施しています。

2013年からは「専門性の高い訪問看護※1」として患者宅を訪問し、ご家族や訪問看護師さんとともに褥瘡だけでなく、生活そのものを褥瘡発生の要因ととらえて、予防や治癒にむけたアドバイスを行っています。

失禁に対する相談では、術後の尿失禁に対する骨盤底筋体操の指導をはじめ、尿失禁、便失禁で悩まれる患者さんの気持ちに寄り添いながら、QOLの向上を目的にスキントラブルの予防や経済性を考慮したケアの相談に応じています。

※1：在宅患者訪問看護・指導料：ストーマ保有、真皮を超える褥瘡の状態にある在宅療養中の患者について、訪問看護ステーションの看護師が同一日に訪問する。市立大津市民病院に受診歴がなくても可能です。



地域医療連携室

【診療科別開放型病床利用数・紹介入院患者数】

(単位：人)

診療科	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
内 科	9 181	9 195	2 236	10 225	9 238	19 248	11 392	15 556	16 760	7 673
消化器内科	4 291	7 329	0 298	2 331	6 317	8 368	4 385	0 507	8 496	4 426
呼吸器内科	3 74	2 94	0 84	0 38	2 45	0 55	2 85	4 109	3 128	0 136
小 児 科	0 129	2 121	0 99	0 147	0 120	3 110	1 158	0 123	0 220	0 208
外 科	4 109	2 146	0 156	0 161	2 133	4 150	4 180	2 300	7 314	6 229
整形外科	4 97	2 93	4 118	0 113	0 85	3 84	1 160	0 203	2 142	0 193
産婦人科	0 79	0 73	0 111	0 93	0 97	0 122	2 180	1 292	0 242	0 156
眼 科	1 37	0 73	0 74	0 67	0 55	0 60	0 115	0 295	0 229	0 124
耳鼻咽喉科	0 34	0 48	0 59	0 44	0 44	0 41	2 66	0 149	1 126	0 66
泌尿器科	0 62	1 90	8 102	0 115	0 85	0 89	2 83	1 133	11 181	1 138
皮 膚 科	0 21	0 14	0 24	0 21	0 24	0 26	0 54	1 40	0 51	0 41
歯科口腔外科	0 353	0 403	0 388	0 465	0 417	0 363	0 184	0 334	0 281	0 248
放射線科	0 0									
脳神経外科	1 112	2 186	2 194	0 178	2 116	5 90	3 164	4 150	2 147	1 75
神経内科	12 104	8 88	5 92	17 79	8 57	5 79	4 163	7 137	11 143	4 114
心臓血管外科	3 30	0 35	0 38	0 42	0 25	0 19	0 32	0 28	0 38	0 42
呼吸器外科	1 45	0 52	0 49	0 56	1 40	0 34	1 47	0 64	0 50	0 55
循環器内科	3 94	1 70	0 103	1 114	1 91	5 103	12 128	9 176	1 164	6 152
精神・心療内科	0 2	0 3	0 3	0 4	0 2	1 3	0 3	0 4	0 11	0 2
緩和ケア科	0 17	2 20	0 19	0 8	0 70	3 95	0 92	0 45	0 124	0 125
合 計	45 1,871	38 2,133	21 2,247	30 2,301	31 2,061	56 2,139	49 2,671	44 3,645	62 3,847	29 3,203

上段：開放型病床利用者数

下段：紹介入院患者数

【平成29年度 特殊検査依頼予約件数】

(単位：件)

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
X線	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
骨塩定量	2	4	0	1	2	3	5	1	0	0	1	4	23
上部消化管造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎盂膀胱造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上部消化管内視鏡	15	17	10	31	16	20	27	24	21	24	16	21	242
大腸ファイバー	11	7	14	17	17	15	9	18	8	8	10	12	146
腹部超音波検査	0	5	0	4	0	2	7	4	1	3	3	3	32
心臓超音波検査	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
その他超音波検査	3	1	1	0	0	1	1	0	1	0	4	1	13
MRI	86	81	93	71	80	59	76	62	66	71	59	66	870
CTスキャン	40	33	50	27	40	37	45	33	30	38	38	23	434
脳血流シンチグラム	0	0	2	2	0	0	5	2	2	2	0	1	16
DATシンチグラム	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3
その他RI検査	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	1	4	2	1	6	2	1	1	1	0	1	2	22
合計	160	153	173	155	162	140	176	146	131	147	133	133	1,809
平成28年度合計	176	140	185	152	137	155	201	174	143	145	174	184	1,966
増減	-16	13	-12	3	25	-15	-25	-28	-12	2	-41	-51	-157

【平成29年度 一般患者診察依頼件数】

(単位：件)

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	32	24	36	40	45	31	38	36	40	32	30	38	422
消化器内科	80	57	74	82	72	71	93	81	59	80	74	81	904
呼吸器内科	18	17	23	19	28	35	41	45	32	29	36	32	355
小児科	22	25	27	23	33	29	26	32	34	21	30	16	318
外科	19	17	13	11	25	22	16	19	15	16	18	18	209
整形外科	42	36	54	46	32	35	35	35	29	40	38	38	460
産婦人科	37	37	39	22	35	21	22	24	24	33	33	27	354
眼科	22	28	23	20	29	24	16	30	15	21	20	16	264
耳鼻咽喉科	24	29	41	32	28	32	29	20	20	9	10	19	293
泌尿器科	22	25	24	25	26	26	19	33	13	21	21	21	276
皮膚科	27	27	33	25	28	19	24	20	25	21	27	28	304
形成外科	4	2	0	1	3	2	4	1	1	1	2	4	25
歯科口腔外科	50	45	60	79	85	64	70	72	48	54	79	88	794
放射線科	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	4
脳神経外科	43	36	30	31	20	32	29	28	38	24	21	39	371
心臓血管外科	11	11	10	5	7	15	11	13	8	4	9	9	113
呼吸器外科	1	2	0	1	1	0	2	1	3	1	1	2	15
神経内科	36	28	34	35	31	25	28	35	19	16	26	31	344
循環器内科	34	28	33	26	23	17	33	32	24	31	19	35	335
精神・心療内科	2	5	6	11	7	8	7	8	6	3	3	7	73
緩和ケア科	18	17	20	20	14	20	16	15	18	19	19	22	218
合計	544	496	581	554	573	528	559	580	472	477	516	571	6,451
平成28年度合計	534	469	580	544	576	543	560	539	495	491	519	601	6,451
増減	10	27	1	10	-3	-15	-1	41	-23	-14	-3	-30	0

【開放型病床利用状況】

区 分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	増減 (H29-H28)
利用入院患者数	56	44	45	59	29	△30
(月平均)	4.7	3.7	3.8	4.9	2.4	△2.5
利用入院患者延人員	839	777	211	1,078	544	△534
(月平均)	69.9	64.8	17.6	89.8	45.3	△44.5
平均在院日数	15.0	17.6	4.7	18.3	18.8	0.5
開放型病床利用率(%)	4.6	43.2	11.7	59.9	30.2	△29.7
利用登録医師数	13	12	10	12	12	0
(月平均)	1.1	1.0	0.8	1.0	1.0	0
共同指導回数	79	46	84	121	43	△78
(月平均)	6.6	3.8	7.0	10.1	3.6	△6.5

【転院患者内訳】

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	増減 (H29-H28)
人 数		1,257	1,729	1,976	2,198	2,519	321
平均年齢		78	78	79	79	78	△1
平均在院期間		44	38	31	28	28	0
平均依頼期間		36	31	27	23	25	2
転 帰 先	病 院	295	334	368	514	504	△10
	施 設	183	259	279	310	323	13
	グループホーム	15	19	33	37	32	△5
	在 宅	652	975	1,168	1,159	1,441	282
	死 亡	109	142	156	215	250	35

【平成29年度 相談件数】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療費	3	3	5	2	1	2	1	1	2	0	3	3	26
特定疾患	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
高齢福祉	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
生活福祉	2	1	4	2	2	1	1	1	4	1	2	1	22
障害福祉	2	1	0	3	0	2	2	2	2	0	1	0	15
児童福祉	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
介護保険	22	29	22	25	22	28	26	29	19	23	20	30	295
その他の施策	1	1	3	1	3	1	2	1	2	0	2	0	17
施策外サービス	2	0	0	0	2	2	0	3	0	0	0	3	12
転院調整	65	74	77	68	66	67	84	81	74	81	72	48	857
在宅調整	38	51	50	55	43	52	43	31	45	40	43	60	551
受診相談	3	0	2	1	2	2	0	1	1	3	1	3	19
家族に関する相談	1	3	2	4	4	1	5	2	1	3	1	1	28
情報仲介	61	51	42	61	46	42	72	53	70	80	72	60	710
入院生活	3	0	2	1	1	1	1	1	0	0	0	1	11
往診医	2	2	5	3	6	4	2	6	4	4	5	5	48
訪問看護	3	2	7	3	9	7	3	4	5	5	4	7	59
介護タクシー予約	42	40	26	35	30	28	40	43	38	54	42	22	440
その他の相談	2	4	2	4	5	2	4	1	1	1	2	2	30
拡大カンファレンス	3	1	1	2	0	1	1	4	6	0	2	1	22
カンファレンス	13	18	14	10	16	14	13	12	10	13	8	13	154
合計	268	283	265	280	259	258	300	278	284	309	280	260	3,324

入院新規件数	158	216	203	212	197	195	237	217	211	229	211	205	2,491
入院終了件数	174	213	216	211	191	186	238	207	218	227	212	223	2,516
外来実人数	119	82	74	117	61	64	85	54	50	92	91	74	963

【平成29年度 救急受入件数（診療科別・搬入経路別）】

（単位：件）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	283	345	270	315	310	267	251	271	454	908	705	394	4,773	397.8
消化器内科	108	134	160	153	153	157	152	124	170	161	135	141	1,748	145.7
呼吸器内科	30	21	25	26	39	32	32	33	41	43	35	34	391	32.6
小児科	140	171	135	172	143	159	146	132	239	373	371	145	2,326	193.8
外科	39	43	34	47	35	36	47	32	32	34	18	33	430	35.8
整形外科	183	219	186	216	198	201	203	191	225	219	172	188	2,401	200.1
産婦人科	40	40	40	42	34	47	38	27	34	32	27	34	435	36.3
眼科	7	11	4	11	4	8	7	6	12	6	5	8	89	7.4
耳鼻咽喉科	71	91	73	67	68	83	73	80	74	61	45	60	846	70.5
泌尿器科	38	47	50	63	66	50	51	49	39	41	41	36	571	47.6
皮膚科	142	189	184	214	212	189	144	124	144	121	111	114	1,888	157.3
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
歯科口腔外科	3	2	2	3	10	0	2	4	2	2	2	3	35	2.9
脳神経外科	101	96	95	76	77	94	103	126	113	115	101	120	1,217	101.4
心臓血管外科	1	2	8	4	3	6	3	7	5	8	8	7	62	5.2
呼吸器外科	5	7	3	6	4	6	4	3	4	2	6	7	57	4.8
神経内科	66	64	42	54	56	59	68	54	52	63	29	54	661	55.1
循環器内科	39	42	47	35	41	36	42	34	40	47	51	49	503	41.9
精神・心療内科	14	26	18	33	23	24	13	24	16	8	13	16	228	19.0
緩和ケア科	2	4	7	3	1	0	2	5	2	0	2	4	32	2.7
救急室	28	25	17	26	17	6	11	18	27	13	24	12	224	18.7
合計	1,340	1,579	1,400	1,566	1,494	1,460	1,392	1,345	1,725	2,257	1,901	1,459	18,918	1576.5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
交通外傷	23	42	32	26	29	35	45	33	41	42	29	44	421	35.1
紹介	36	49	91	48	43	54	58	44	46	58	49	52	628	52.3

搬入経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般	1,013	1,258	1,077	1,213	1,142	1,140	1,058	984	1,363	1,884	1,569	1,112	14,813	1,234.4
救急	326	320	323	353	350	319	334	359	361	373	332	347	4,097	341.4
へり	1	1	0	0	2	1	0	2	1	0	0	0	8	0.7
合計	1,340	1,579	1,400	1,566	1,494	1,460	1,392	1,345	1,725	2,257	1,901	1,459	18,918	1,576.5

【平成 29 年度地域医療支援研修会実施報告】

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
薬剤部	4月24日	ロコアテープ [経皮吸収型鎮痛消炎剤]	17	0	大正富山医薬品学術
	5月8日	テクフィデラカプセル [多発性硬化症治療剤]	17	0	バイオジェン・ジャパン学術
	5月22日	アイクルシグ錠 15mg [抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼインヒビター]	17	0	大塚製薬学術
	6月28日	漢方勉強会	18	2	ツムラ医薬情報担当者
	7月4日	リンゼス錠 0.25mg [グアニル酸シクラーゼC受容体アゴニスト]	16	0	アステラス製薬学術
	7月12日	リクラスト点滴静注液 5mg [骨粗鬆症治療剤]	17	0	旭化成ファーマ学術
	8月31日	〈病薬連携セミナー〉 『腎臓病・高齢者における薬物治療』 『外来糖尿病患者の血糖降下薬と腎機能の関係』	17	28	磯野 元秀 (内科診療部長) 早川 太郎 (薬剤部主査)
	11月9日	〈病診薬連携セミナー〉 『C型肝炎 最近の話題』	14	25	城 正泰 (消化器内科医長)
看護局	9月6日	がん看護の動向と意思決定支援-ACPの視点から-	29	9	杉江 礼子 (がん看護専門看護師)
	12月4日	「体験してみよう!摂食嚥下障害」	34	7	西 真由美 (摂食・嚥下障害看護認定看護師)
緩和ケア 病棟	10月17日	緩和ケア病棟 秋の研修	3	18	津田 真 (緩和ケア科診療部長)
	11月14日	〈緩和ケア市民公開講座〉 知って良かった!緩和ケア	9	38	津田 真 (緩和ケア科診療部長)
リハビリテーション部	4月13日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	0	8	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
	5月11日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	0	2	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
	6月8日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	0	5	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
	7月14日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	0	6	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
	8月22日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	0	4	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
	11月16日	エコロジカルアプローチ研究会 チーム滋賀勉強会 (旧クライン勉強会)	1	3	生田 悦子 (リハビリテーション部主査)
地域医療連携室	4月24日	〈市立大津市民病院 公開講座〉 下肢静脈瘤の治療	5	44	藤原 克次 (心臓血管外科医長)
	6月28日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 認知症ってどんな病気?	8	60	和田 みどり (認知症看護認定看護師)
	7月20日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 中高年に多い眼の病気	3	64	近藤 衣里 (眼科診療部長)
	9月22日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 ~もうツラくない!大腸の新しい検査~大腸CT検査のお話	7	73	田中 順子 (消化器内科)
	10月12日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 知って得する薬の話	5	66	中山 英夫 (薬剤部薬剤長)
	11月3日	〈市立大津市民病院大学 公開講座〉 糖尿病110番~糖尿病と脂肪肝~	22	67	山下 亜希 (糖尿病看護認定看護師) 他
	11月22日	〈市立大津市民病院大学 公開講座〉 聞いてみたくなる検査のはなし	5	47	森 恵美子 (臨床検査部技師長)
	12月15日	〈市立大津市民病院大学 公開講座〉 肺がん手術のウラ話	5	60	戸田 省吾 (副院長・呼吸器外科診療部長)
	1月16日	〈市立大津市民病院大学 公開講座〉 これだけは知っておきたい膵臓がん診療	86	6	片岡 慶正 全 圭夏 (理事長・院長 消化器内科医長)
	2月2日	〈市立大津市民病院大学 健康講座〉 乳がんのホントのことを教えます!	37	9	洲崎 聡 (健診センター診療部長 外科医長)
	2月23日	〈市立大津市民病院大学 公開講座〉 これだけは知っておきたい下肢静脈瘤の症状と最新の治療	45	5	藤原 克次 (心臓血管外科医長)

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
総合内科	5月25日	〈症例検討会〉 吃逆を主訴に受診した高血圧を認める47歳男性	22	0	坂野 遼 (臨床研修センター)
	9月14日	〈症例検討会〉 咽頭不快、食欲不振のため受診した79歳女性	21	1	西村 允邦 (臨床研修センター)
	12月7日	〈症例検討会〉 発熱、咳嗽のため受診した19歳女性	21	1	阪井 貴美子 (臨床研修センター)
	3月1日	〈症例検討会〉 持続する発熱、全身倦怠感を主訴に受診した65歳女性	25	1	五十嵐 友輔 (臨床研修センター)
救急診療科	7月13日	〈ER症例発表会〉 「大津市におけるドクターヘリ活用による効果について」 「医療被ばく」 「VT再燃症例から学ぶおくすりの話」 「周期性四肢麻痺と甲状腺機能異常について」	14	6	伊藤 渉 (臨床研修センター) 植村 泰佑 (臨床研修センター) 月井 亮太 (臨床研修センター)
	11月9日	〈ER症例発表会〉 「ERでの教訓となる症例についての検討」	18	6	大松 未沙 (臨床研修センター) 饗庭 千夏 (臨床研修センター) 田邊 俊司 (臨床研修センター) 大八木 智人 (臨床研修センター)
	3月8日	〈ER症例発表会〉 「ERで教訓となる症例についての検討」	20	4	疋田 健人 (臨床研修センター) 坂野 遼 (臨床研修センター) 阪井 貴美子 (臨床研修センター) 田中 千智 (臨床研修センター) 原田 彩香 (臨床研修センター) 北村 勝 (大津市消防局)
NST委員会	6月26日	〈NST勉強会〉 SGAについて	7	0	峠岡 佑典 (内科医長)
	7月24日	〈NST勉強会〉 ODAについて	10	3	前林 佳朗 (精神・心療内科診療部長)
	8月28日	〈NST勉強会〉 救急領域の栄養管理	10	0	横峯 辰生 (集中治療部)
	9月26日	〈NST勉強会〉 外科疾患と栄養管理	14	1	藤田 覇留久 (外科)
	10月23日	〈NST勉強会〉 摂食・嚥下障害と栄養管理 嚥下訓練食	13	0	西 真由美 (摂食・嚥下障害看護認定看護師) 中井 和美 (管理栄養士)
	11月30日	〈NST勉強会〉 腎臓疾患と栄養管理	16	1	中澤 純 (内科医長)
	12月11日	〈NST勉強会〉 炎症性腸疾患と栄養管理 胆・膵疾患と栄養管理	10	0	木村 英憲 (消化器内科) 杉本 博子 (消化器内科)
	1月22日	〈NST勉強会〉 糖尿病と栄養管理	8	0	峠岡 佑典 (内科医長)
	2月26日	〈NST勉強会〉 呼吸器疾患と栄養管理	10	0	平沼 修 (呼吸器内科部長)
	3月12日	〈NST勉強会〉 口腔ケア 簡易経腸法 経腸栄養と静脈栄養法	9	0	鄭 智佳 薬剤師 山本伸子 歯科衛生士
放射線部	10月4日	〈放射線治療講演会〉 「教科書に載らない放射線治療」	34	0	諏訪 達也先生 (京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学画像応用治療学)
	10月19日	〈骨密度測定新装置研修会〉 骨密度測定検査の重要性	21	0	中原 貴浩先生 (東洋メディック株式会社)
	10月31日	〈放射線治療室運営部会研修会〉 「進行直腸癌に対する世界標準治療～当院における化学放射線療法の治療成績～」	37	1	平井 健次郎 (外科医長)
化学療法委員会	9月22日	〈化学療法研修会〉 市立大津市民病院の実力～婦人科・泌尿器科の症例提示～	25	1	天野 泰彰 (産婦人科診療部長) 増井 仁彦 (泌尿器科医長)
	11月10日	〈化学療法研修会〉 早い時期からの緩和ケア	35	1	津田 真 (緩和ケア科診療部長) 中島 潤 (消化器内科医長)

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
委員 会 研 修 管 理 委 員 会	3月15日	(第86回市立大津市民病院臨床病理検討会) 「胸背部痛で入院し入院加療中に死亡した透析患者の1例」	31	0	担当医：2年目研修医 主治医：中澤 純 病理医：益澤 尚子
	7月2日	市立大津市民病院 ICLS 研修 医療従事者のための蘇生トレーニングコース	8	16	小尾口 邦彦 (救急診療科診療部長) 福井 道彦 (臨床研修センター長) 吉田 修 (救急看護認定看護師) 横田 耕治 (救急看護認定看護師)
臨床 研 修 セ ン タ ー	1月13日	市立大津市民病院 ICLS 研修 医療従事者のための蘇生トレーニングコース	7	17	小尾口 邦彦 (救急診療科診療部長) 福井 道彦 (臨床研修センター長) 吉田 修 (救急看護認定看護師) 横田 耕治 (救急看護認定看護師)
大津市 医 師 会	5月11日	(アフタヌーンセミナー) 『アブレーションについて～薬物療法も含めて～』	1	34	今井 幹昌 (循環器内科医長)
	7月20日	(アフタヌーンセミナーパート1) 『当院における肺癌診療について』－放射線治療・薬物治療 について－	0	21	平沼 修 (呼吸器内科診療部長)
	8月24日	(第8回大津消化器カンファレンス) 「食道潰瘍、狭窄を呈した難治性GERDの1症例」 「集学的治療により切除可能となった門脈腫瘍塞栓 (Vp4) を 伴う原発性肝癌の1例」 「当院における大腸CT 検査の現状」 「当院における進行直腸癌に対する化学放射線療法の治療成 績」	11	26	若林 直樹 (消化器内科診療部長) 大江 秀典 (外科医長) 田中 順子 (消化器内科) 平井 健次郎 (外科医長)
	9月7日	(アフタヌーンセミナーパート1) 「肝疾患診療アップデート」	2	23	城 正泰 (消化器内科医長)
	2月22日	大津市医師会例会時学術講演会 『慢性腎臓病診療の進歩』	0	34	磯野 元秀 (内科診療部長)
	3月15日	学術講演会 (病院見学会) : 大津市民病院にて 『小児アレルギー診療の今昔』	9	12	木原 明生 (小児科医長)
	3月31日	(イブニングセミナー) 高齢化を見据えたCOPDを考える	6	31	田中 理美 (呼吸器内科)
	内容	掲載号	テーマ	担当者	
大津市 医 師 会 誌 へ の 掲 載	4月号	(医院から病院へ、病院から医院へ) 「右腎癌に対してロボット支援腎部分切除術を施行した1例」	八田原 広大 他 (泌尿器科専攻医)		
	7月号	(医院から病院へ、病院から医院へ) 「骨吸収抑制薬関連下顎骨髄炎の1例」	松本 忠士 他 (歯科口腔外科診療部長)		
	9月号	(セミナーノート アフタヌーンセミナーパート1) 「当院における肺癌診療について－放射線治療・薬物治療について－」	平沼 修 (呼吸器内科診療部長)		
	10月号	(医院から病院へ、病院から医院へ) 「腹腔鏡下 Intersphincteric resection (ISR) を施行し肛門を温存した高齢者 下部直腸癌の1例」	平井 健次郎 (外科医長)		
		(講演会ノート 第8回大津消化器カンファレンス) 「食道潰瘍、狭窄を伴う難治性GERD を呈した限局皮膚硬化型全身性強皮症の 症例」	若林 直樹 (消化器内科診療部長)		
		(講演会ノート 第8回大津消化器カンファレンス) 「集学的治療により切除可能となった門脈腫瘍塞栓 (Vp4) を伴う原発性肝癌 の1例」	大江 秀典 他 (外科医長)		
		(講演会ノート 第8回大津消化器カンファレンス) 「当院における大腸CT 検査の現状」	田中 順子 他 (消化器内科)		
		(講演会ノート 第8回大津消化器カンファレンス) 「当院における進行直腸癌に対する化学放射線療法の治療成績」	平井 健次郎 (外科医長)		
	11月号	(セミナーノート アフタヌーンセミナーパート1) 「肝疾患診療アップデート」	城 正泰 (消化器内科医長)		
	1月号	(医院から病院へ、病院から医院へ) 「発熱、腰背部痛で発症しアメーバ性肝膿瘍、H I V感染症が診断された1例」	杉本 博子 (消化器内科専攻医)		

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
その他	5月16日	〈大津市社会福祉協議会富士見学区 市民公開講座〉 知って良かった！緩和ケア	0	38	津田 真 (緩和ケア科診療部長)
	6月3日	〈大津市介護支援専門員協会 総会記念講演会〉 終末期ケアと緩和ケア病棟の役割	0	79	津田 真 (緩和ケア科診療部長)
	6月15日	〈中老人福祉センター 市民健康講座〉 知って得する薬の話	0	57	中山 英夫 (医療技術局長、薬剤部長)
	7月6日	〈消化管粘膜障害を考える勉強会 in 大津〉 基調講演：当院における薬剤起因性上部消化管粘膜障害の現状 特別講演：変わりつつある消化管疾患治療：胃酸と腸内フローラからの新展開	50	3	寄木 浩行 (消化器内科医長) 内藤 裕二先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科准教授)
	9月11日	〈大津市健康推進課 南すこやか相談所 糖尿病予防教室 かかってしまえば十人糖色！？～糖にそまるその前に！糖尿病を予防しよう～〉 40歳を過ぎたら要注意！危ない！高血糖 知っていますか？ 高血糖って実は〇〇なんです	0	16	山下 亜希 (糖尿病看護認定看護師)
	9月13日	〈中老人福祉センター 市民健康講座〉 認知症ってどんな病気？	0	64	和田 みどり (認知症看護認定看護師)
	9月14日	〈榛原の里褥瘡対策研修会〉 褥瘡対策研修会	0	42	大津 陽子 (皮膚・排泄ケア認定看護師)
	9月27日	『がん治療に伴う外見変化のお悩みはありませんか』	3	2	香西 愛子 池田 由紀乃 (株式会社 スベンソン)

部	署	回数	院内	院外	合計
薬	剤部	8	133	55	188
看	護局	2	63	16	79
緩	和ケア病棟	2	12	56	68
リ	ハビリテーション部	6	1	28	29
地	域医療連携室	11	228	501	729
総	合内科	4	89	3	92
救	急診療科	3	52	16	68
N	S T 委員会	10	107	5	112
放	射線部	3	92	1	93
化	学療法委員会	2	60	2	62
医	科臨床研修管理委員会	1	31	0	31
臨	床研修センター	2	15	33	48
大	津市医師会	7	29	181	210
そ	の他	8	53	301	354
合	計	69	965	1,198	2,163

患者相談支援室

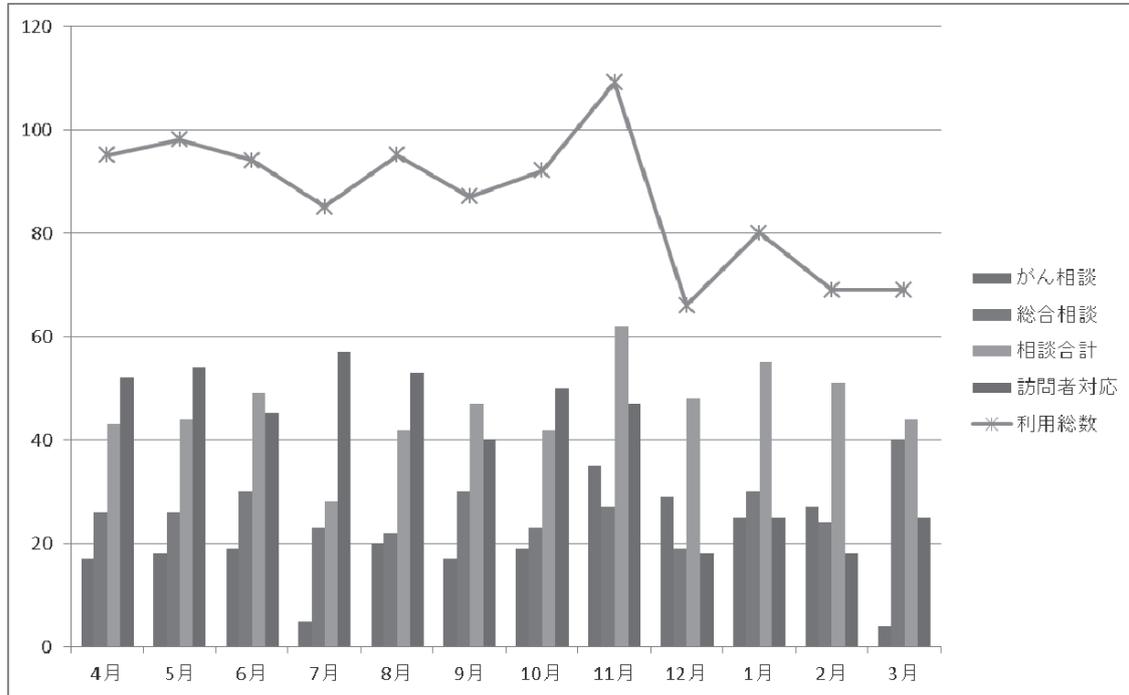
【平成29年度 相談件数 月別実績】

	延べ相談:件 対応時間:分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	平成 28年度
がん看護 専門看護師	相談	4	5	6	1	4	1	1	1	1	2	1	1	28	30
	対応時間	195	195	280	45	160	30	60	15	45	115	20	45	1205	1280
がん化学療法 看護認定看護師	相談	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	4
	対応時間	0	0	0	0	70	0	0	0	0	80	0	30	180	190
薬剤師	相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
栄養士	相談	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	対応時間	0	30	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	95	130
臨床心理士	相談	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	5	13
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	110	130	340	780
リンパ浮腫療養士 がん看護専門看護師 (患者相談支援室での対応)	相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がん患者 サポート関連	相談	13	12	13	3	15	16	18	34	27	22	24	0	197	136
	対応時間	530	615	705	205	710	590	655	1245	1035	1130	1085	0	8505	6120
がん相談合計 (A)	相談	17	18	19	5	20	17	19	35	29	25	27	4	235	187
	対応時間	725	840	985	315	940	620	715	1260	1180	1325	1215	205	10325	8570
看護師・事務職	相談	12	20	13	12	9	15	8	18	12	12	16	20	167	179
	対応時間	165	385	180	165	115	145	95	190	195	170	135	330	2270	2545
電話相談 (看護師・事務職)	相談	12	6	16	11	13	15	15	9	6	18	7	19	147	182
	対応時間	100	45	170	65	75	65	85	60	35	155	40	130	1025	1690
MSW	相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対応時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他専門職	相談	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	6	5
	対応時間	65	0	35	0	0	0	0	0	10	0	40	80	230	140
総合相談合計 (B)	相談	26	26	30	23	22	30	23	27	19	30	24	40	320	366
	対応時間	330	430	385	230	190	210	180	250	240	325	215	540	3525	4375
その他の 相談室利用(C)	相談	0	0	0	33	40	29	37	37	24	21	21	25	267	-
	対応時間	0	0	0	1500	1645	1525	1630	1440	1440	1150	1355	1315	13000	-
患者相談支援室 合計(A+B+C)	相談	43	44	49	61	82	76	79	99	72	76	72	69	822	553
	対応時間	1055	1270	1370	2045	2775	2355	2525	2950	2860	2800	2785	2060	26850	13150
患者相談支援室 訪問者への対応 (D)	延べ 対応件数	52	54	45	57	53	40	50	47	18	25	18	25	484	565
利用者合計(A+B+C+D)		95	98	94	118	135	116	129	146	90	101	90	94	1306	1122
平成28年度利用者合計 (A+B+C)		104	86	92	81	101	93	97	92	80	89	101	103	1122	

【平成 29 年度 相談支援室利用状況】

(単位：件)

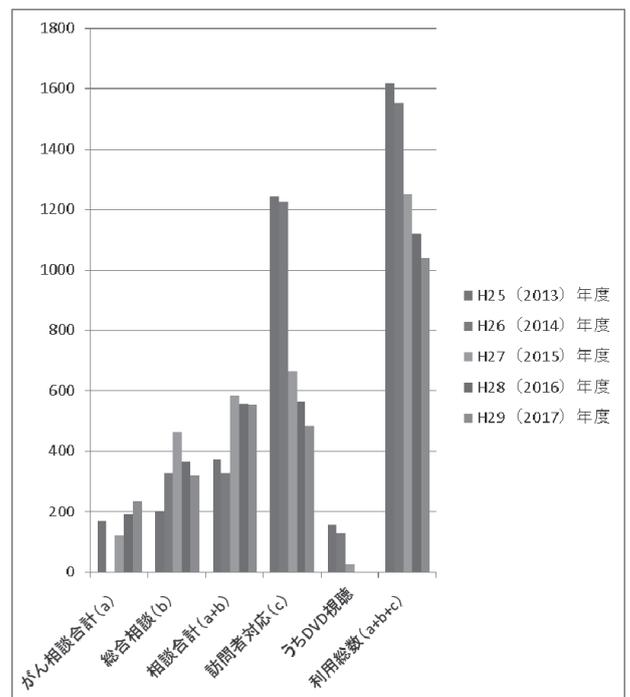
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
がん相談	17	18	19	5	20	17	19	35	29	25	27	4	235
総合相談	26	26	30	23	22	30	23	27	19	30	24	40	320
相談合計	43	44	49	28	42	47	42	62	48	55	51	44	555
訪問者対応	52	54	45	57	53	40	50	47	18	25	18	25	484
利用総数	95	98	94	85	95	87	92	109	66	80	69	69	1,039



【患者相談支援室利用状況 年度推移】

(単位：件)

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
がん看護専門看護師	38	32	30	28
がん化学療法看護認定看護師	3	4	4	3
薬剤師	2	0	2	0
栄養士	4	2	2	2
臨床心理士	6	6	13	5
リンパ浮腫療養士 がん看護専門看護師 (患者相談支援室での対応)	8	8	0	0
リンパ浮腫療養士 がん看護専門看護師 (リハビリ室での対応)	63	0	0	0
がん患者サポート関連	5	75	136	197
がん相談合計 (a)	129	127	187	235
総合相談 (b)	328	462	366	320
相談合計 (a + b)	457	589	553	555
質問者対応 (c)	1,226	665	565	484
うちDVD視聴	131	24*	0	0
利用総数 (a + b + c)	1,683	1,254	1,118	1,039



※平成 26 年 8 月より、がん相談の RH 室でのリンパ浮腫対応を除外
 ※平成 26 年 10 月より、がん患者総合サポート件数を含む
 ※平成 28 年度は DVD の視聴は含まない。

【平成29年度 相談・苦情件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
合計（件）	38	18	35	23	24	24	29	24	23	18	23	25	304	25
苦情（件）	9	8	4	8	9	8	14	8	7	7	6	10	98	8
相談（件）	6	4	8	2	4	2	4	2	3	4	4	5	48	4
要望・依頼（件）	15	10	19	8	8	10	8	9	9	4	10	6	116	10
提言・提案（件）	2	3	4	5	2	4	3	5	4	3	3	4	42	4
総時間（分）	1212	708	1060	628	1016	1155	693	978	515	566	843	987	10361	863
一件平均時間（分）	32	31	30	27	51	43	24	47	27	33	44	38	427	36
男性（人）	26	15	20	10	12	10	18	11	16	10	17	10	175	15
女性（人）	12	3	15	13	12	14	11	13	7	8	6	15	129	11
窓口（件）	27	11	28	19	17	12	22	15	15	14	10	17	207	17
電話（件）	7	7	7	3	6	11	7	9	8	3	13	8	89	7
文書（件）	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	4	0
報告・有（件）	1	2	2	2	2	1	1	2	2	3	1	2	21	2
報告・無（件）	37	16	33	21	22	23	28	22	21	15	22	23	283	24

【平成29年度 相談苦情の対象者の分類】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
医師	14	5	12	9	8	4	10	8	8	5	6	14	103	9
看護師	12	0	2	5	5	1	2	2	2	3	1	0	35	3
コメディカル	3	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1
事務	7	3	10	1	0	1	0	0	4	2	6	1	35	3
清掃業者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
警備（防災）	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
その他	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	1	2	7	1
職員	4	3	5	3	3	7	4	2	3	2	3	5	44	4
患者・家族	2	0	2	0	2	0	0	1	0	1	2	2	12	1
その他	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	6	1

○苦情

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接遇	7	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	11	1
診療内容	6	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	17	1
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
医療費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文書	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

○相談

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療内容	4	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	11	1
薬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0

○要望・依頼

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	5	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	10	1
診療内容	8	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	5	18	2
薬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
検 査	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
待ち時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	1

○提言・提案

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
接 遇	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
診療内容	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設 備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
待ち時間	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
文 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0

訪問看護ステーション

【利用者数の推移】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	75	76	79	75	73	76	83	86	82	83	82	79	949
平成27年度	77	84	80	82	80	77	83	81	80	81	85	84	974
平成28年度	84	77	77	78	77	71	71	73	75	82	88	89	942
平成29年度	88	86	85	88	85	78	77	80	78	75	80	82	982

【訪問回数の推移】

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	654	625	660	649	615	604	741	607	671	622	660	667	7,775
平成27年度	676	617	691	734	626	599	583	651	667	638	751	771	8,004
平成28年度	740	729	778	706	684	634	552	646	681	701	694	816	8,361
平成29年度	699	719	831	802	761	662	656	701	681	697	760	802	8,771

【休日定期訪問期間*の対象と訪問期間の推移】

	1～2週間	2～3週間	3～4週間	4～8週間	3ヶ月以上	全対象延べ人数
平成26年度	16	2	2	3	3	26
平成27年度	13	2	4	2	1	22
平成28年度	12	3	0	2	3	20
平成29年度	29	2	0	2	2	35

※休日定期訪問期間：土・日の訪問（年末年始・祭日は除外）

平成29年度の主な訪問目的

- ・ ターミナルケア
- ・ 褥瘡その他創傷処置
- ・ 点滴およびインスリン
- ・ 一時的な症状悪化
- ・ 吸引・排痰支援
- ・ 導尿、その他退院後の特別指示書による医療的管理、
家族指導
- ・ 排便コントロール

【平成 29 年度 疾病中分類別・上位疾病別・病名数】

対象期間の全病名数：10,325 件

順位	コード	分類名	件数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	023	消化器の悪性新生物	844	8.2	11,833	14.0	72.0
2	038	良性新生物	567	5.5	2,251	4.0	63.0
3	094	虚血性心疾患	395	3.8	2,045	5.2	69.9
4	102	インフルエンザ及び肺炎	355	3.4	4,453	12.5	54.9
5	024	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	345	3.3	6,259	18.1	72.2
6	111	口腔、唾液腺及び顎の疾患	331	3.2	992	3.0	34.8
7	116	腸のその他の疾患	328	3.2	3,134	9.6	66.0
8	097	脳血管疾患	291	2.8	6,698	23.0	73.5
9	079	水晶体の障害	255	2.5	516	2.0	76.0
9	096	その他の型の心疾患	255	2.5	4,343	17.0	77.0
11	119	胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	249	2.4	2,660	10.7	69.4
12	222	生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	231	2.2	1,520	6.6	0.2
13	106	外的因子による肺疾患	200	1.9	5,999	30.0	83.0
14	204	股関節部及び大腿の損傷	180	1.7	5,708	31.7	82.1
15	135	脊椎障害	178	1.7	6,854	38.5	68.2
16	070	挿入性及び発作性障害	173	1.7	884	5.1	56.7
17	031	腎尿路の悪性新生物	162	1.6	2,325	14.4	72.0
18	158	胎児及び羊膜腔に関連する母胎ケア並びに予想される分娩の諸問題	160	1.5	2,257	14.1	31.8
19	030	男性生殖器の悪性新生物	151	1.5	1,729	11.5	72.4
20	035	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	143	1.4	3,575	25.0	73.7
21	160	分娩	138	1.3	986	7.1	32.2
22	145	腎尿路細管間質性疾患	131	1.3	1,579	12.1	68.6
23	099	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	130	1.3	511	3.9	64.7
23	114	ヘルニア	130	1.3	758	5.8	67.8
25	029	女性生殖器の悪性新生物	122	1.2	1,143	9.4	60.2
26	103	その他の急性下気道感染症	120	1.2	660	5.5	7.7

順位	コード	分類名	件数	構成比 (%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
27	153	女性生殖器の非炎症性障害	119	1.2	620	5.2	45.8
28	147	尿路結石症	117	1.1	723	6.2	61.0
29	001	腸管感染症	104	1.0	780	7.5	32.8
29	034	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物	104	1.0	1,299	12.5	71.0
31	028	乳房の悪性新生物	100	1.0	932	9.3	62.3
32	146	腎不全	99	1.0	1,462	14.8	74.2
33	150	男性生殖器の疾患	98	0.9	629	6.4	65.7
34	149	尿路系のその他の疾患	97	0.9	1,471	15.2	78.9
35	202	肘及び前腕の損傷	92	0.9	934	10.2	58.8
36	039	性状不詳又は不明の新生物	88	0.9	785	8.9	64.3
37	053	代謝障害	87	0.8	1,124	12.9	67.2
38	205	膝及び下腿の損傷	86	0.8	2,374	27.6	52.9
39	197	頭部損傷	84	0.8	1,166	13.9	68.7
39	218	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	84	0.8	1,387	16.5	70.2
41	098	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	77	0.7	1,151	14.9	74.4
42	112	食道、胃及び十二指腸の疾患	76	0.7	989	13.0	69.0
43	101	急性上気道感染症	75	0.7	395	5.3	16.1
44	166	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	74	0.7	428	5.8	-
45	004	その他の細菌性疾患	68	0.7	1,256	18.5	72.8
46	047	糖尿病	67	0.6	902	13.5	60.5
47	067	錐体外路障害及び異常運動	66	0.6	1,254	19.0	76.0
48	113	虫垂の疾患	65	0.6	454	7.0	42.5
49	011	皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	58	0.6	519	8.9	51.0
50	118	肝疾患	57	0.6	889	15.6	63.1

【平成29年度 疾病中分類別・診療科別・病名数】

(単位：件)

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
総 数	10,325	100.0	1,121	1,678	509	595	904	679	818	274	202	695
構 成 比 (%) ※	100.0		10.9	16.3	4.9	5.8	8.8	6.6	7.9	2.7	2.0	6.7
I 感染症及び寄生虫症	271	2.6	49	61	19	72	8	-	2	-	2	4
001 腸管感染症	104	1.0	7	48	-	44	4	-	-	-	-	-
002 結核	6	0.1	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
004 その他の細菌性疾患	68	0.7	36	1	10	4	4	-	1	-	-	4
005 主として性的伝播様式をとる感染症	2	0.0	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
009 中枢神経系のウイルス感染症	2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
010 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	1	0.0	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	58	0.6	-	-	-	15	-	-	-	-	1	-
012 ウイルス肝炎	5	0.0	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
014 その他のウイルス疾患	16	0.2	3	3	-	9	-	-	-	-	-	-
015 真菌症	6	0.1	1	2	2	-	-	-	-	-	1	-
016 原虫疾患	1	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
017 ぜんく蠕虫症	1	0.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
020 細菌、ウイルス及びその他の病原体	1	0.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	2,684	26.0	165	917	256	3	411	7	213	-	18	337
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	7	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
023 消化器の悪性新生物	844	8.2	2	445	-	-	286	-	-	-	-	-
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	345	3.3	-	1	241	-	1	-	-	-	3	-
025 骨及び関節軟骨の悪性新生物	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
026 皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物	8	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物	10	0.1	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1
028 乳房の悪性新生物	100	1.0	-	-	-	-	91	-	-	-	-	-
029 女性生殖器の悪性新生物	122	1.2	-	1	-	-	-	-	117	-	-	-
030 男性生殖器の悪性新生物	151	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145
031 腎尿路の悪性新生物	162	1.6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	153
032 眼、脳及び中枢神経系のその他の中枢神経系の部位の悪性新生物	5	0.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	8	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物	104	1.0	4	21	7	-	20	1	1	-	4	9
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	143	1.4	130	-	1	1	3	-	-	-	2	1
037 上皮内新生物	19	0.2	-	3	-	-	2	-	3	-	-	7
038 良性新生物	567	5.5	-	439	-	-	3	2	86	-	2	10
039 性状不詳または不明の新生物	88	0.9	29	7	1	2	3	4	6	-	1	6

※四捨五入誤差を含める

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
総数	165	360	424	196	142	3	434	663	29	203	231
構成比（％）	1.6	3.5	4.1	1.9	1.4	0.0	4.2	6.4	0.3	2.0	2.2
I 感染症及び寄生虫症	44	-	-	-	1	-	8	1	-	-	-
001 腸管感染症	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
002 結核	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
004 その他の細菌性疾患	6	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
005 主として性的伝播様式をとる感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
009 中枢神経系のウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
010 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	38	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
012 ウイルス肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
014 その他のウイルス疾患	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
015 真菌症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
016 原虫疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
017 ぜんく蠕虫症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
020 細菌、ウイルス及びその他の病原体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
II 新生物	19	23	13	-	99	-	2	3	-	198	-
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-
023 消化器の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	-	2	-	108	-
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物	-	-	-	-	56	-	-	1	-	42	-
025 骨及び関節軟骨の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
026 皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-
028 乳房の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-
029 女性生殖器の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-
030 男性生殖器の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
031 腎尿路の悪性新生物	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7	-
032 眼、脳及び中枢神経系のその他の中枢神経系の部位の悪性新生物	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物	-	4	2	-	24	-	1	-	-	6	-
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
037 上皮内新生物	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
038 良性新生物	8	1	5	-	11	-	-	-	-	-	-
039 性状不詳または不明の新生物	2	18	4	-	4	-	1	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
III 血液及び造血器の疾患 並びに免疫機能の障害	40	0.4	15	7	1	4	3	1	4	-	1	3
040 栄養性貧血	14	0.1	1	6	-	-	3	-	3	-	1	-
042 無形成性貧血及びその他の貧血	6	0.1	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	11	0.1	7	-	-	3	-	-	-	-	-	-
044 血液及び造血器のその他の疾患	7	0.1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	3
045 免疫機構の障害	2	0.0	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	221	2.1	144	12	1	37	7	1	1	2	2	2
046 甲状腺障害	11	0.1	5	-	-	1	-	-	-	2	2	-
047 糖尿病	67	0.6	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	16	0.2	10	-	-	5	-	1	-	-	-	-
049 その他の内分泌腺障害	34	0.3	10	-	-	24	-	-	-	-	-	-
050 栄養失調(症)	5	0.0	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-
051 その他の栄養欠乏症	1	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
053 代謝障害	87	0.8	51	11	1	7	5	-	1	-	-	2
V 精神及び行動の障害	34	0.3	11	2	-	6	-	-	2	-	-	-
054 症状性を含む器質性精神障害	4	0.0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
055 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	8	0.1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
056 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
057 気分[感情]障害	4	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
058 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	8	0.1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-
059 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	0.0	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
062 心理的発達の障害	6	0.1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
063 小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	347	3.4	9	1	56	18	-	7	-	-	60	-
065 中枢神経系の炎症性疾患	5	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
066 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	26	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
067 錐体外路障害及び異常運動	66	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
068 神経系のその他の変性疾患	11	0.1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
069 中枢神経系の脱髄疾患	9	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
070 挿間性及び発作性障害	173	1.7	2	-	56	14	-	-	-	-	56	-
071 神経、神経根及び神経そう<叢>の障害	12	0.1	-	-	-	1	-	7	-	-	3	-
072 多発(性)ニューロパチ<シ>一及びその他の末梢神経系の障害	6	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
073 神経筋接合部及び筋の疾患	5	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
075 神経系のその他の障害	34	0.3	5	1	-	2	-	-	-	-	1	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040 栄養性貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
042 無形成性貧血及びその他の貧血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
043 凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
044 血液及び造血器のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
045 免疫機構の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	-	-	-	-	-	2	7	1	1	-
046 甲状腺障害	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
047 糖尿病	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
048 その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
049 その他の内分泌腺障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
050 栄養失調（症）	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
051 その他の栄養欠乏症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
053 代謝障害	-	-	-	-	-	-	2	6	-	1	-
V 精神及び行動の障害	-	-	-	-	-	-	4	-	8	1	-
054 症状性を含む器質性精神障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
055 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
056 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
057 気分〔感情〕障害	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
058 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
059 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
062 心理的発達の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
063 小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	-	-	8	-	-	-	186	1	1	-	-
065 中枢神経系の炎症性疾患	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-
066 主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-
067 錐体外路障害及び異常運動	-	-	-	-	-	-	66	-	-	-	-
068 神経系のその他の変性疾患	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
069 中枢神経系の脱髄疾患	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
070 挿間性及び発作性障害	-	-	3	-	-	-	41	1	-	-	-
071 神経、神経根及び神経そう<叢>の障害	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
072 多発（性）ニューロパチ<シ>一及びその他の末梢神経系の障害	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
073 神経筋接合部及び筋の疾患	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
075 神経系のその他の障害	-	-	3	-	-	-	21	-	1	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
VII 眼及び付属器の疾患	273	2.6	-	-	-	1	-	-	-	271	-	-
076 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	10	0.1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
077 結膜の障害	4	0.0	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
079 水晶体の障害	255	2.5	-	-	-	-	-	-	-	255	-	-
083 視神経及び視(覚)路の障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
085 視機能障害及び盲<失明>	2	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
086 眼及び付属器のその他の障害	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	58	0.6	2	-	-	2	-	-	-	-	54	-
088 中耳及び乳様突起の疾患	6	0.1	-	-	-	2	-	-	-	-	4	-
089 内耳疾患	39	0.4	1	-	-	-	-	-	-	-	38	-
090 耳のその他の障害	13	0.1	1	-	-	-	-	-	-	-	12	-
IX 循環器系の疾患	1,186	11.5	45	13	9	1	32	2	1	-	-	2
092 慢性リウマチ性心疾患	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
093 高血圧性疾患	15	0.1	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-
094 虚血性心疾患	395	3.8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	20	0.2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
096 その他の型の心疾患	255	2.5	27	-	7	-	-	-	1	-	-	-
097 脳血管疾患	291	2.8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	77	0.7	1	2	1	-	-	2	-	-	-	-
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	130	1.3	1	11	-	1	30	-	-	-	-	2
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	2	0.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	940	9.1	323	25	149	308	6	-	-	-	52	1
101 急性上気道感染症	75	0.7	4	1	1	51	-	-	-	-	18	-
102 インフルエンザ及び肺炎	355	3.4	177	7	46	112	2	-	-	-	-	1
103 その他の急性下気道感染症	120	1.2	4	-	3	110	1	-	-	-	-	-
104 上気道のその他の疾患	36	0.3	2	-	1	-	-	-	-	-	33	-
105 慢性下気道疾患	54	0.5	2	-	28	24	-	-	-	-	-	-
106 外的因子による肺疾患	200	1.9	120	14	32	2	3	-	-	-	-	-
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	39	0.4	6	-	26	-	-	-	-	-	-	-
108 下気道の化膿性及びえ<壊>死性病態	7	0.1	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-
109 胸膜のその他の疾患	27	0.3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
110 呼吸器系のその他の疾患	27	0.3	2	3	8	9	-	-	-	-	1	-
XI 消化器系の疾患	1,361	13.2	11	584	-	11	400	-	5	-	1	17
111 口腔、唾液膜及び顎の疾患	331	3.2	1	-	-	2	-	-	-	-	1	-
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	76	0.7	2	62	-	2	9	-	-	-	-	-
113 虫垂の疾患	65	0.6	-	-	-	-	65	-	-	-	-	-
114 ヘルニア	130	1.3	1	-	-	-	114	-	-	-	-	14
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	53	0.5	-	48	-	-	5	-	-	-	-	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
076 眼瞼、涙器及び眼窩の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
077 結膜の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
079 水晶体の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
083 視神経及び視（覚）路の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
085 視機能障害及び盲<失明>	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
086 眼及び付属器のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
088 中耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
089 内耳疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
090 耳のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ⅸ 循環器系の疾患	4	-	120	174	2	-	172	609	-	-	-
092 慢性リウマチ性心疾患	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
093 高血圧性疾患	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
094 虚血性心疾患	-	-	-	10	-	-	-	384	-	-	-
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	-	-	-	-	2	-	-	15	-	-	-
096 その他の型の心疾患	1	-	-	49	-	-	-	170	-	-	-
097 脳血管疾患	-	-	116	-	-	-	171	-	-	-	-
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	2	-	4	32	-	-	-	33	-	-	-
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1	-	-	82	-	-	-	2	-	-	-
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	-	-	-	1	30	1	28	14	1	1	-
101 急性上気道感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102 インフルエンザ及び肺炎	-	-	-	1	-	-	1	8	-	-	-
103 その他の急性下気道感染症	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
104 上気道のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
105 慢性下気道疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
106 外的因子による肺疾患	-	-	-	-	-	-	26	1	1	1	-
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	-	-	-	-	6	-	-	1	-	-	-
108 下気道の化膿性及びえ<壊>死性病態	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
109 胸膜のその他の疾患	-	-	-	-	22	-	-	1	-	-	-
110 呼吸器系のその他の疾患	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-
XI 消化器系の疾患	-	327	-	-	-	-	1	4	-	-	-
111 口腔、唾液膜及び顎の疾患	-	327	-	-	-	-	-	-	-	-	-
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
113 虫垂の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
114 ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
116 腸のその他の疾患	328	3.2	4	243	-	7	69	-	1	-	-	3
117 腹膜の疾患	17	0.2	1	2	-	-	12	-	2	-	-	-
118 肝疾患	57	0.6	1	53	-	-	-	-	2	-	-	-
119 胆のう<囊>、胆管及び胆汁の障害	249	2.4	1	140	-	-	108	-	-	-	-	-
120 消化器系のその他の疾患	55	0.5	-	36	-	-	18	-	-	-	-	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	101	1.0	7	2	-	4	3	4	-	-	3	-
121 皮膚及び皮下組織の感染症	53	0.5	6	1	-	3	3	2	-	-	3	-
122 水疱症	9	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123 皮膚炎及び湿疹	5	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
125 じんま<蕁麻>疹及び紅斑	6	0.1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
127 皮膚付属器の障害	11	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	17	0.2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	385	3.7	40	4	4	19	-	139	-	-	-	-
129 感染性関節障害	4	0.0	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
130 炎症性多発性関節障害	26	0.3	17	-	-	-	-	8	-	-	-	-
131 関節症	41	0.4	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-
132 その他の関節障害	10	0.1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
133 全身性結合組織障害	35	0.3	10	3	4	17	-	-	-	-	-	-
134 変形性脊柱障害	11	0.1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
135 脊椎障害	178	1.7	3	1	-	-	-	39	-	-	-	-
136 その他の脊柱障害	45	0.4	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-
137 筋障害	9	0.1	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-
138 滑膜及び腱の障害	3	0.0	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
139 その他の軟部組織障害	6	0.1	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-
140 骨の密度及び構造の障害	5	0.0	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
141 その他の骨障害	6	0.1	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
142 軟骨障害	2	0.0	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	4	0.0	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	715	6.9	234	5	1	13	6	-	121	-	2	319
144 糸球体疾患	38	0.4	30	-	-	6	-	-	-	-	2	-
145 腎尿細管間質性疾患	131	1.3	55	1	-	5	-	-	2	-	-	63
146 腎不全	99	1.0	88	-	-	-	2	-	-	-	-	5
147 尿路結石症	117	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	117
148 腎及び尿管のその他の障害	8	0.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6
149 尿路系のその他の疾患	97	0.9	58	4	1	2	2	-	1	-	-	25
150 男性生殖器の疾患	98	0.9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	97
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	6	0.1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
153 女性生殖器の非炎症性障害	119	1.2	1	-	-	-	2	-	111	-	-	5
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	2	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
116 腸のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
117 腹膜の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
118 肝疾患	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
119 胆のう<嚢>、胆管及び膵の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
120 消化器系のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	75	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-
121 皮膚及び皮下組織の感染症	33	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
122 水疱症	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
123 皮膚炎及び湿疹	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
125 じんま<蕁麻疹>疹及び紅斑	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
127 皮膚付属器の障害	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	2	1	170	-	-	-	3	3	-	-	-
129 感染性関節障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130 炎症性多発性関節障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
131 関節症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
132 その他の関節障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
133 全身性結合組織障害	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
134 変形性脊柱障害	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
135 脊椎障害	-	-	130	-	-	-	2	3	-	-	-
136 その他の脊柱障害	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-
137 筋障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
138 滑膜及び腱の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
139 その他の軟部組織障害	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
140 骨の密度及び構造の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
141 その他の骨障害	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
142 軟骨障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-
144 糸球体疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
145 腎尿管間質性疾患	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-
146 腎不全	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
147 尿路結石症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
148 腎及び尿管のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
149 尿路系のその他の疾患	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
150 男性生殖器の疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
153 女性生殖器の非炎症性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	373	3.6	-	-	-	-	-	-	373	-	-	-
155 流産に終わった妊婦	24	0.2	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-
156 妊娠、分娩及び産じょく<褥> における浮腫、たんぱく<蛋白> >尿及び高血圧性障害	10	0.1	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
157 主として妊娠に関するその他の 母体障害	13	0.1	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-
158 胎児及び羊膜腔に関連する母 体ケア並びに予想される分娩 の諸問題	160	1.5	-	-	-	-	-	-	160	-	-	-
159 分娩の合併症	25	0.2	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-
160 分娩	138	1.3	-	-	-	-	-	-	138	-	-	-
161 主として産じょく<褥>に関 連する合併症	1	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
162 その他の産科的病態、他に分類 されないもの	2	0.0	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	136	1.3	-	-	-	45	-	-	89	-	-	-
163 母体側要因並びに妊娠及び分 娩の合併症により影響を受け た胎児及び新生児	1	0.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
164 妊娠期間及び胎児発育の関連 する障害	27	0.3	-	-	-	7	-	-	19	-	-	-
165 出産外傷	2	0.0	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
166 周産期に特異的な呼吸障害及 び心血管障害	74	0.7	-	-	-	28	-	-	45	-	-	-
167 周産期に特異的な感染症	2	0.0	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
168 胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	29	0.3	-	-	-	7	-	-	22	-	-	-
172 周産期に発生したその他の障 害	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	26	0.3	1	1	-	11	-	-	1	-	2	5
173 神経系の先天奇形	7	0.1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇 形	2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
175 循環器系の先天奇形	7	0.1	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-
178 消化器系のその他の先天奇形	2	0.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
180 腎尿路系の先天奇形	6	0.1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
183 染色体異常、他に分類されない もの	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
XV 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
155 流産に終わった妊婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
156 妊娠、分娩及び産じょく<褥>における浮腫、たんぱく<蛋白>尿及び高血圧性障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
157 主として妊娠に関するその他の母体障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
158 胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア並びに予想される分娩の諸問題	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
159 分娩の合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
160 分娩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
161 主として産じょく<褥>に関連する合併症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
162 その他の産科的病態、他に分類されないもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
163 母体側要因並びに妊娠及び分娩の合併症により影響を受けた胎児及び新生児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
164 妊娠期間及び胎児発育の関連する障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
165 出産外傷	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
166 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
167 周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
168 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
172 周産期に発生したその他の障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	-	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-
173 神経系の先天奇形	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
175 循環器系の先天奇形	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-
178 消化器系のその他の先天奇形	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
180 腎尿路系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
183 染色体異常、他に分類されないもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
ⅧⅢ 症状、徴候及び異常臨床 所見・異常検査所見で他に 分類されないもの	92	0.9	22	10	10	14	2	-	-	-	3	3
184 循環器系及び呼吸器系に関する 症状及び徴候	14	0.1	3	-	7	-	-	-	-	-	1	1
185 消化器系及び腹部に関する症 状及び徴候	11	0.1	5	5	-	-	1	-	-	-	-	-
186 皮膚及び皮下組織に関する症 状及び徴候	1	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
187 神経系及び筋骨格系に関する 症状及び徴候	2	0.0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
188 腎尿路系に関する症状及び徴 候	3	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
189 認識、知覚、情緒状態及び行動 に関する症状及び徴候	15	0.1	7	-	-	-	-	-	-	-	2	2
190 言語及び音声に関する症状及 び徴候	2	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
191 全身症状及び徴候	35	0.3	7	4	-	12	1	-	-	-	-	-
192 血液検査の異常所見、診断名の 記載がないもの	1	0.0	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
195 画像診断及び機能検査におけ る異常所見、診断名の記載がな いもの	8	0.1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
ⅨⅨ 損傷、中毒及びその他の 外因の影響	808	7.8	43	19	3	26	17	509	3	-	2	2
197 頭部損傷	84	0.8	5	-	-	-	-	1	-	-	2	2
198 頸部損傷	17	0.2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
199 胸部<郭>損傷	29	0.3	4	-	-	-	1	12	-	-	-	-
200 腹部、下背部、腰椎 及び骨盤部の損傷	41	0.4	4	-	-	-	7	17	-	-	-	-
201 肩及び上腕の損傷	51	0.5	-	-	-	-	-	51	-	-	-	-
202 肘及び前腕の損傷	92	0.9	-	-	-	-	-	92	-	-	-	-
203 手首及び手の損傷	25	0.2	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-
204 股関節部及び大腿の損傷	180	1.7	1	-	1	-	-	175	-	-	-	-
205 膝及び下腿の損傷	86	0.8	-	-	-	-	-	85	-	-	-	-
206 足首及び足の損傷	22	0.2	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-
207 多部位の損傷	6	0.1	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
208 部位不明の体幹もしくは(四) 肢の損傷又は部位不明の損傷	7	0.1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
209 自然開口部からの異物侵入の 作用	9	0.1	4	2	1	-	1	-	1	-	-	-
210 体表面の熱傷及び腐食、明示さ れた部位	6	0.1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
212 多部位及び部位不明の熱傷及 び腐食	1	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤に よる中毒	19	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
216 外陰のその他及び詳細不明の 作用	47	0.5	17	-	-	25	-	-	-	-	-	-
217 外傷の早期合併症	1	0.0	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
218 外科的及び内科的ケアの合併 症、他に分類されないもの	84	0.8	8	16	1	1	5	20	2	-	-	-
219 損傷、中毒及びその他の外因に よる影響の続発・後遺症	1	0.0	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	274	2.7	-	15	-	-	9	9	3	1	-	-
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	16	0.2	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
222 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	231	2.2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	23	0.2	-	2	-	-	8	9	-	-	-	-
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	4	0.0	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-
XXII 特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児循環器内科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科	新生児
XX 傷病及び死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4	-	-	2	-	-	1	-	-	1	229
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
222 生殖に関連する環境下での保健サービスの利用者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	229
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響を及ぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
XXII 特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【平成 29 年（1～12 月度） 地区別・診療科別退院患者数】

退院患者数には転科を含む（単位：件）

	滋賀県											
	大津市			湖南			湖東			その他		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
内 科	1,018	513	505	45	26	19	3	1	2	5	2	3
消化器内科	1,566	943	623	96	56	40	13	5	8	10	7	3
外 科	801	423	378	48	35	13	7	2	5	6	6	0
呼吸器内科	445	273	172	14	10	4	3	3	0	8	2	6
小 児 科	544	310	234	22	15	7	4	4	0	1	0	1
整形外科	572	229	343	33	14	19	3	1	2	2	2	0
産婦人科	651	27	624	42	3	39	9	1	8	11	1	10
眼 科	276	101	175	8	6	2	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	231	130	101	9	6	3	1	1	0	0	0	0
泌尿器科	618	506	112	34	33	1	16	15	1	4	3	1
皮 膚 科	127	66	61	11	2	9	0	0	0	3	1	2
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	335	154	181	22	10	12	3	1	2	18	6	12
脳神経内科	432	234	198	22	4	18	3	1	2	1	1	0
脳神経外科	342	206	136	39	29	10	7	5	2	8	4	4
循環器内科	602	391	211	33	23	10	6	6	0	3	3	0
呼吸器外科	120	78	42	9	6	3	7	5	2	1	0	1
心臓血管外科	141	79	62	12	6	6	5	5	0	3	0	3
小児循環器内科	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神・心療内科	26	9	17	2	0	2	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科	155	89	66	17	6	11	0	0	0	2	0	2
比率 (%)	88.7%			5.1%			0.9%			0.8%		
合 計	9,006	4,765	4,241	518	290	228	90	56	34	86	38	48

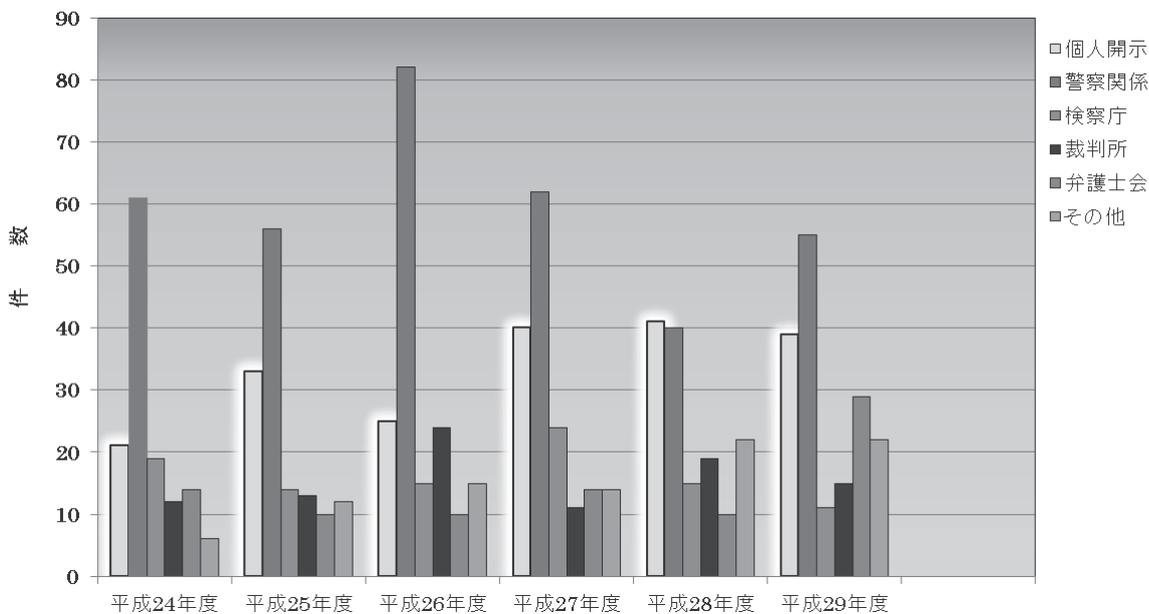
	京都府						他府県			合 計			比率 (%)
	山科地区			その他			計	男	女	計	男	女	
	計	男	女	計	男	女							
内 科	12	5	7	9	6	3	15	10	5	1,107	563	544	10.9
消化器内科	7	4	3	11	7	4	13	10	3	1,716	1,032	684	16.9
外 科	6	3	3	12	5	7	16	13	3	896	487	409	8.8
呼吸器内科	2	1	1	5	4	1	7	2	5	484	295	189	4.8
小 児 科	1	0	1	0	0	0	14	10	4	586	339	247	5.8
整形外科	2	2	0	13	9	4	7	3	4	632	260	372	6.2
産婦人科	10	1	9	21	0	21	120	24	96	864	57	807	8.5
眼 科	0	0	0	1	1	0	1	0	1	286	108	178	2.8
耳鼻咽喉科	1	0	1	9	8	1	5	1	4	256	146	110	2.5
泌尿器科	6	6	0	7	7	0	22	15	7	707	585	122	7.0
皮 膚 科	0	0	0	2	0	2	1	0	1	144	69	75	1.4
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
歯科口腔外科	1	0	1	4	1	3	2	1	1	385	173	212	3.8
脳神経内科	0	0	0	4	1	3	1	0	1	463	241	222	4.6
脳神経外科	5	3	2	15	8	7	21	14	7	437	269	168	4.3
循環器内科	9	6	3	2	1	1	3	3	0	658	433	225	6.5
呼吸器外科	0	0	0	5	2	3	1	1	0	143	92	51	1.4
心臓血管外科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	162	91	71	1.6
小児循環器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0.0
精神・心療内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	9	19	0.3
緩和ケア科	17	7	10	2	0	2	3	0	3	196	102	94	1.9
比率 (%)	0.8%			1.2%			2.5%						
合 計	80	39	41	122	60	62	252	107	145	10,154	5,355	4,799	

【年度別情報開示関係件数推移】

(単位：件)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
個人開示	21	33	25	40	41	39
警察関係	61	56	82	62	40	55
検察庁	19	14	15	24	15	11
裁判所	12	13	24	11	19	15
弁護士会	14	10	10	14	10	29
その他	6	12	15	14	22	22
合計件数	133	138	171	165	147	171

※その他：労働基準監督署、保健所、保険会社、消防署、日本医療機能評価機構



【部位（大分類）別・診断年別・腫瘍数（2016年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	904	100.0	06 (C44) 皮膚	計	8	0.9
	男	515	57.0		男	3	0.6
	女	389	43.0		女	5	1.3
構成比 (%)	計		100.0	07 (C47) 末梢神経及び自律神経系	計	-	-
	男		100.0		男	-	-
	女		100.0		女	-	-
01 (C00-C14) 口唇、口腔及び咽喉頭	計	15	1.7	08 (C48) 後腹膜及び腹膜	計	1	0.1
	男	9	1.7		男	-	-
	女	6	1.5		女	1	0.3
02 (C15-C26) 消化器	計	418	46.2	09 (C49) 結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	計	4	0.4
	男	265	51.5		男	1	0.2
	女	153	39.3		女	3	0.8
03 (C30-C39) 呼吸器系及び胸腔内臓器	計	157	17.4	10 (C50) 乳房	計	66	7.3
	男	97	18.8		男	1	0.2
	女	60	15.4		女	65	16.7
04 (C40-C41) 骨、関節及び関節軟骨	計	-	-	11 (C51-C58) 女性性器	計	48	5.3
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	48	12.3
05 (C42) 造血系及び細網内皮系	計	25	2.8	12 (C60-C63) 男性性器	計	61	6.7
	男	13	2.5		男	61	11.8
	女	12	3.1		女	-	-

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)	
13	(C64-C68) 尿路	計	62	6.9	(C76)	計	-	-
		男	51	9.9	16 その他及び不明確な部位	男	-	-
		女	11	2.8		女	-	-
14	(C69-C72) 眼、脳及びその他の 中枢神経系	計	10	1.1	(C77) リンパ節	計	12	1.3
		男	3	0.6	男	6	1.2	
		女	7	1.8	女	6	1.5	
15	(C73-C75) 甲状腺及びその他の 内分泌腺	計	10	1.1	(C80) 原発部位不明	計	7	0.8
		男	4	0.8	男	1	0.2	
		女	6	1.5	女	6	1.5	

【部位（中分類）別・診断年別・腫瘍数（2016年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	904	100.0	C10 中咽頭	計	2	0.2
	男	515	57.0		男	1	0.2
	女	389	43.0		女	1	0.3
構成比 (%)	計		100.0	C11 鼻咽頭	計	1	0.1
	男		100.0		男	1	0.2
	女		100.0		女	-	-
C00 口唇	計	1	0.1	C12 梨状陥凹	計	-	-
	男	1	0.2		男	-	-
	女	-	-		女	-	-
C01 舌根部	計	-	-	C13 下咽頭	計	1	0.1
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	1	0.3
C02 その他及び部位不明の舌	計	4	0.4	C14 その他及び部位不明の口唇、口腔及び咽頭	計	-	-
	男	2	0.4		男	-	-
	女	2	0.5		女	-	-
C03 歯肉	計	3	0.3	C15 食道	計	18	2.0
	男	1	0.2		男	13	2.5
	女	2	0.5		女	5	1.3
C04 口腔底	計	-	-	C16 胃	計	121	13.4
	男	-	-		男	82	15.9
	女	-	-		女	39	10.0
C05 口蓋	計	-	-	C17 小腸	計	8	0.9
	男	-	-		男	6	1.2
	女	-	-		女	2	0.5
C06 その他及び部位不明の口腔	計	-	-	C18 結腸	計	140	15.5
	男	-	-		男	83	16.1
	女	-	-		女	57	14.7
C07 耳下腺	計	2	0.2	C19 直腸S状結腸移行部	計	9	1.0
	男	2	0.4		男	5	1.0
	女	-	-		女	4	1.0
C08 その他及び詳細不明の大唾液腺	計	-	-	C20 直腸	計	33	3.7
	男	-	-		男	22	4.3
	女	-	-		女	11	2.8
C09 扁桃	計	1	0.1	C21 肛門及び肛門管	計	2	0.2
	男	1	0.2		男	-	-
	女	-	-		女	2	0.5

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
C22 肝及び肝内胆管	計	39	4.3	C44 皮膚	計	8	0.9
	男	26	5.0		男	3	0.6
	女	13	3.3		女	5	1.3
C23 胆のう	計	5	0.6	C47 末梢神経及び自律神経系	計	-	-
	男	2	0.4		男	-	-
	女	3	0.8		女	-	-
C24 その他及び部位不明の胆道	計	11	1.2	C48 後腹膜及び腹膜	計	1	0.1
	男	6	1.2		男	-	-
	女	5	1.3		女	1	0.3
C25 膵	計	32	3.5	C49 結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	計	4	0.4
	男	20	3.9		男	1	0.2
	女	12	3.1		女	3	0.8
C26 その他及び部位不明確の消化器	計	-	-	C50 乳房	計	66	7.3
	男	-	-		男	1	0.2
	女	-	-		女	65	16.7
C30 鼻腔及び中耳	計	-	-	C51 外陰	計	-	-
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	-	-
C31 副鼻腔	計	-	-	C52 膣	計	1	0.1
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	1	0.3
C32 喉頭	計	4	0.4	C53 子宮頸	計	19	2.1
	男	3	0.6		男	-	-
	女	1	0.3		女	19	4.9
C33 気管	計	-	-	C54 子宮体部	計	17	1.9
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	17	4.4
C34 気管支及び肺	計	146	16.2	C55 子宮、NOS	計	-	-
	男	90	17.5		男	-	-
	女	56	14.4		女	-	-
C37 胸腺	計	1	0.1	C56 卵巣	計	11	1.2
	男	1	0.2		男	-	-
	女	-	-		女	11	2.8
C38 心臓、縦隔及び胸膜	計	6	0.7	C57 その他及び部位不明の女性性器	計	-	-
	男	3	0.6		男	-	-
	女	3	0.8		女	-	-
C39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器	計	-	-	C58 胎盤	計	-	-
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	-	-
C40 肢の骨、関節及び関節軟骨	計	-	-	C60 陰茎	計	-	-
	男	-	-		男	-	-
	女	-	-		女	-	-
C41 その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	計	-	-	C61 前立腺	計	58	6.4
	男	-	-		男	58	11.3
	女	-	-		女	-	-
C42 造血系及び細網内皮系	計	25	2.8	C62 精巣	計	3	0.3
	男	13	2.5		男	3	0.6
	女	12	3.1		女	-	-

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)		
C63	その他及び部位不明の男性性器	計	-	-	C71	脳	計	2	0.2
		男	-	-			男	2	0.4
		女	-	-			女	-	-
C64	腎	計	13	1.4	C72	脊髄、脳神経及びその他の中枢神経系	計	3	0.3
		男	11	2.1			男	1	0.2
		女	2	0.5			女	2	0.5
C65	腎盂	計	5	0.6	C73	甲状腺	計	8	0.9
		男	4	0.8			男	3	0.6
		女	1	0.3			女	5	1.3
C66	尿管	計	7	0.8	C74	副腎	計	-	-
		男	5	1.0			男	-	-
		女	2	0.5			女	-	-
C67	膀胱	計	37	4.1	C75	その他の内分泌腺及び関連組織	計	2	0.2
		男	31	6.0			男	1	0.2
		女	6	1.5			女	1	0.3
C68	その他及び部位不明の泌尿器	計	-	-	C76	その他及び不明確な部位	計	-	-
		男	-	-			男	-	-
		女	-	-			女	-	-
C69	眼及び付属器	計	-	-	C77	リンパ節	計	12	1.3
		男	-	-			男	6	1.2
		女	-	-			女	6	1.5
C70	髄膜	計	5	0.6	C80	原発部位不明	計	7	0.8
		男	-	-			男	1	0.2
		女	5	1.3			女	6	1.5

臨床研修センター

研修医・専攻医（後期研修医）を中心に、すべての医療関係者個々の臨床学習を支援しています。実り多い研修にするためには、医療ニーズに触れ、ニーズを満たすために必要な力を個々がMy goalを設定して取り組むことが肝要です。臨床研修センターは研修事業の充実への最大限の支援体制を目指しています。

【初期臨床研修支援事業】

医科初期臨床研修においては、マッチング採用の当院研修希望者に加え、京都府立医科大学附属病院たすきがけ研修医、京都大学医学部附属病院及び滋賀医科大学医学部附属病院からのたすきがけ研修医の参加を得ることができた(下記※)。

2年次研修医は全員初期研修を修了し、各々が希望する後期研修へと進むこととなった。

※平成29年度研修者

(医科)

・2年次

市立大津市民病院採用	7名	計8名
京都大学医学部附属病院たすきがけ	1名	

・1年次

市立大津市民病院採用	11名	計11名
------------	-----	------

(歯科)

・1年次

市立大津市民病院採用	1名	
------------	----	--

【平成29年度の主な事業】

<研修医リフレッシュ研修（平成29年9月15日（金）～16日（土）宿泊研修）>

例年、西教寺にて1泊2日の宿泊研修を実施し、意見交換会で出される研修医からの研修要望を次年度の研修プログラムに反映させている。

<研修医プレゼンテーション>

救急診療科主催により、研修医によるER・ICUで経験した症例提示を行い（年3回）、研修医のプレゼンテーション能力向上を図った。

<地域医療フォーラム2018に参加（平成30年3月18日（日）～19日（月））>

本フォーラムは、滋賀県にゆかりのある医学生等を対象に開催されたもので、県内の13病院が参加した。

医学生向け講演会、各病院のプレゼンテーション、出展ブースでの医学生との自由面談、懇親会が行われた。

当院のプレゼンテーションは川俣研修医が担当し、研修医の目線でわかりやすく当院の研修の魅力を伝えることができた。

1日目のびわ湖大津プリンスホテル及びミシガン（船上）での説明会には82名が参加、2日目の病院見学のうち当院へは22名の方が参加された。

臨床研修センターロゴマーク



武士（もののふ）の
やばせの舟は早けれど
急がば回れ瀬田の長橋

【院内研修支援事業】

＜蘇生研修事業＞

国際ガイドライン準拠の AED・BLS 研修を全職員対象に実施した。実施にあたり、職員で一定の資格を有する者（日本救急医学会 ICLS インストラクター等）をインストラクターとして登録し、新規採用職員等が履修した。

研修回数：23 回、受講職員数：215 名、登録（新規）インストラクター数：10 名。

新規インストラクターには昨年同様、白衣に装着できるオリジナルピンバッジを授与した。

また、受講者には名札ケースに入れられるよう、名刺サイズの研修修了証（下図）を交付した。

このほか、日本救急医学会 ICLS 講習会事業について、事業を円滑に実施することができた。

ICLS 開催回数：2 回、受講者：48 名。



【インターネット情報交換活動】

「Facebook：大津市民病院臨床研修センター」を利用して、即時性の高い情報交換を実施している。